

山形県立図書館の現状とニーズ調査結果

平成28年3月
山形県教育委員会

目 次

I. 山形県立図書館の現状.....	1
1. 図書館の規模.....	1
2. 利用状況.....	2
3. 運営状況.....	4
II. ニーズ調査結果.....	5
1. インターネット利用によるアンケート調査.....	5
2. 聴き取り調査.....	27

1. 山形県立図書館の現状

◆ 1. 図書館の規模

(1) 面積と蔵書数

平成2年7月に開館した山形県立図書館は、延床面積・蔵書冊数とも東北各県の中で最も小さく、全国平均を下回り、延床面積は47都道府県中41位、蔵書冊数は44位となっている。

表1-1 県立図書館の規模

図書館名	専有延床面積(m ²)	順位	蔵書冊数計(冊)	順位	開館年月
青森県立図書館	9,886	19	888,432	18	平成6年3月
岩手県立図書館	10,590	17	724,964	36	平成18年5月
宮城県図書館	18,101	6	1,057,437	11	平成10年3月
秋田県立図書館	12,446	10	819,797	23	平成5年11月
山形県立図書館	6,085	41	645,811	44	平成2年7月
福島県立図書館	9,017	23	907,739	17	昭和59年7月
東北平均	11,021		840,697		
全国平均	10,559		911,404		

資料:「日本の図書館2014」から作成

※順位は全国都道府県立図書館の順位(規模の大きな順)

(2) 資料費

平成26年度資料費は22,819千円であり、東北6県で最も少なく、全国47都道府県中45位と平均の約4割の水準である。しかし人口当たりで見ると、全国28位となり、ほぼ全国平均並みの水準である。

表1-2 県立図書館の資料費

図書館名	平成25年度末人口(人)	順位	平成26年度資料費(千円)	順位	人口当たり資料費(円/人)	順位
青森県立図書館	1,372,010	31	55,021	14	40.1	13
岩手県立図書館	1,314,180	32	34,542	32	26.3	19
宮城県図書館	2,318,692	15	35,920	30	15.5	35
秋田県立図書館	1,076,205	38	38,648	28	35.9	17
山形県立図書館	1,155,942	35	22,819	45	19.7	28
福島県立図書館	1,980,259	20	28,174	40	14.2	37
東北平均	1,536,215		35,854		23.3	
全国平均	2,731,359		54,184		19.8	

資料:「日本の図書館2014」から作成

※順位は全国都道府県立図書館の順位(規模の大きな順)

◆ 2. 利用状況

(1) 来館者数と貸出数

平成25年度の来館者数は195千人、1日当たり685人となっており、いずれも東北では5番目、全国順位で40位となっている。人口当たりでみると全国順位は上昇するが平均を下回っている。

貸出数は187千冊、1日当たり656冊、人口100人当たり16.2冊となっており、いずれも東北で5番目で、全国平均を下回っている。

表1-3 県立図書館の来館者数・貸出数

図書館名	来館者数						貸出数					
	来館者数	順位	開館日1日 当たり (人/日)	順位	人口当たり (人/100人)	順位	貸出数計 (冊)	順位	開館日1日 当たり (冊/日)	順位	人口当たり (冊/100人)	順位
青森県立図書館	351,370	21	1,043	25	25.6	18	270,359	27	802	28	19.7	21
岩手県立図書館	498,752	11	1,471	16	38.0	12	309,992	25	914	26	23.6	16
宮城県図書館	385,099	19	1,297	19	16.6	27	691,768	7	2,329	7	29.8	13
秋田県立図書館	450,106	17	1,348	18	41.8	9	389,940	18	1,167	20	36.2	10
山形県立図書館	195,095	40	685	40	16.9	25	187,007	32	656	32	16.2	27
福島県立図書館	174,911	41	614	41	8.8	35	130,545	42	458	42	6.6	37
東北平均	342,556		1,076		24.6		329,935		1,055		22.0	
全国平均	373,932		1,223		24.1		371,380		1,288		25.9	

資料:「日本の図書館2014」から作成 ※順位は全国都道府県立図書館の順位(規模の大きな順)

(2) 県内図書館等との相互貸借、一般特別貸出

県内市町村図書館・図書室(以下「市町村図書館(室)」という。)との相互貸借による平成25年度実績は、6,418点となっている。

また、市町村図書館(室)や学校図書室に対して、まとまった数の図書を長期間にわたって貸出を行う一括特別貸出による貸出数は2,081点となっており、制度的なものや震災による支援など各県によって事情の違いはあるものの、山形県立図書館は東北の他県と比べ非常に少なくなっている

表1-4 相互貸借・一括特別貸出の状況

図書館名	相互貸借貸出数(点)	一括特別貸出数(点)
青森県立図書館	5,026	28,686
岩手県立図書館	2,351	33,671
宮城県図書館	18,045	—
秋田県立図書館	19,417	11,694
山形県立図書館	6,418	2,081
福島県立図書館	4,948	8,999

資料:平成25年度実績 山形県立図書館調べ
※宮城県図書館の一括特別貸出数は、相互貸借貸出数に含まれる

(3) インターネット予約の推移

平成19年10月のインターネットによる予約開始以降、予約受付点数、インターネット予約受付点数ともに増加している。東北各県と比べると、制度的な違いはあるものの、予約全体に占めるインターネット予約の割合が73.2%と最も高くなっている。インターネット予約は、若年層や遠隔地からの利用促進のための有効な制度であり、さらに広く周知していく必要がある。

表1-5 予約及びインターネット予約の状況

年度	予約受付点数A	ネット予約内数B	B/A(%)	【参考】貸出全体に占める予約の割合
21	11,211	6,457	57.6%	5.7%
22	11,471	7,042	61.4%	6.1%
23	13,075	9,005	68.9%	7.0%
24	13,496	9,715	72.0%	7.1%
25	14,935	10,936	73.2%	8.0%

資料：平成26年度山形県立図書館要覧

図書館名	予約受付点数A	ネット予約内数B	B/A(%)
青森県立図書館	26,749	18,811	70.3%
岩手県立図書館	5,009	1,228	24.5%
宮城県図書館	22,626	8,014	35.4%
秋田県立図書館	30,216	10,742	35.6%
山形県立図書館	14,935	10,936	73.2%
福島県立図書館	1,853	861	46.5%

資料：平成25年度実績 山形県立図書館調べ
※岩手県立図書館は受付点数でなく受付件数

(4) 調査相談件数

直接面談したものや電話、文書、電子メール等を含めた調査相談（レファレンス）の件数は、7,048件となっており、東北各県の中で下位の状況となっている。そのうち郷土資料に関する割合は17.9%である。

表1-6 調査相談件数

図書館名	調査相談件数A	郷土資料関係内数B	B/A(%)
青森県立図書館	13,599	817	6.0%
岩手県立図書館	13,985	2,806	20.1%
宮城県図書館	20,261	5,249	25.9%
秋田県立図書館	26,582	1,676	6.3%
山形県立図書館	6,907	1,239	17.9%
福島県立図書館	4,958	891	18.0%

資料：平成25年度実績 山形県立図書館調べ
※開館・閉館・開館時間等の利用案内を除く。福島県立図書館は所蔵に関する調査も除いている

◆ 3. 運営状況

(1) 開館状況

山形県立図書館と同様に毎週月曜日を休館としている都道府県立図書館は全国で 35 館あるが、そのうち 28 館は、月曜日が祝日の場合は開館し、その翌日を休館日としている。平成 25 年度の開館日数をみると、山形県立図書館は 285 日であり、全国 47 都道府県中 33 位であり、全国平均を下回っている。

開館時間が山形県立図書館と同様に午前 9 時から午後 7 時までの図書館は 47 都道府県中 23 館、午前 9 時から午後 8 時までの図書館は 6 館となっている。開館時間が最も長い図書館は、山梨県立図書館と鹿児島県立図書館の午前 9 時から午後 9 時までである。

表1-7 開館状況

図書館名	休館日	平成25年度 開館日数(日)	順位	開館時間
青森県立図書館	第4木曜日	337	4	毎開館日 午前9時～午後7時
岩手県立図書館	毎月末日 (土日祝日の場合は前日)	339	3	毎開館日 午前9時～午後8時
宮城県図書館	月曜日 (祝日の場合は翌日)	297	15	日曜祝日以外 午前9時～午後7時 日曜祝日 午前9時～午後5時
秋田県立図書館	毎月第1水曜日 (祝日の場合は第2水曜日)	334	5	平日 午前9時～午後7時 土日祝日 午前10時～午後6時
山形県立図書館	月曜日、第3日曜日	285	33	毎開館日 午前9時～午後7時
福島県立図書館	月曜日、第1木曜日	285	33	平日 午前9時30分～午後7時 土日祝日 午前9時30分～午後5時30分
東北平均		313		
全国平均		297		

資料：平成26年4月現在 山形県立図書館調べ ※平成25年度開館日数は「日本の図書館2014」による

(2) 職員体制

山形県立図書館の非常勤職員を含む職員の司書率は 51.2%であり、東北平均及び全国平均と比較しても低位にある。面積当たり及び貸出数当たりの職員数は東北平均及び全国平均を上回っており、やや多い職員数で運営されている。

表1-8 職員体制

図書館名	職員数計 (人)	司書数 (人)	司書率 (%)	順位 (降順)	面積当たり職員数 (人/1,000㎡)	順位 (昇順)	貸出数当たり職員数 (人/10,000冊)	順位 (昇順)
青森県立図書館	34	18	52.9	34	3.4	7	1.3	19
岩手県立図書館	73	50	68.1	17	6.9	39	2.4	32
宮城県図書館	79	38	48.0	39	4.4	18	1.1	17
秋田県立図書館	39	21	53.8	33	3.1	5	1.0	12
山形県立図書館	41	21	51.2	35	6.7	37	2.2	31
福島県立図書館	34	23	67.4	18	3.8	9	2.6	37
東北平均	50	28	56.9		4.7		1.8	
全国平均	50	31	62.0		5.2		2.0	

資料：「日本の図書館2014」より作成 ※順位は全国都道府県立図書館の順位(司書率は数字の大きい順、他は小さい順)

II. ニーズ調査結果

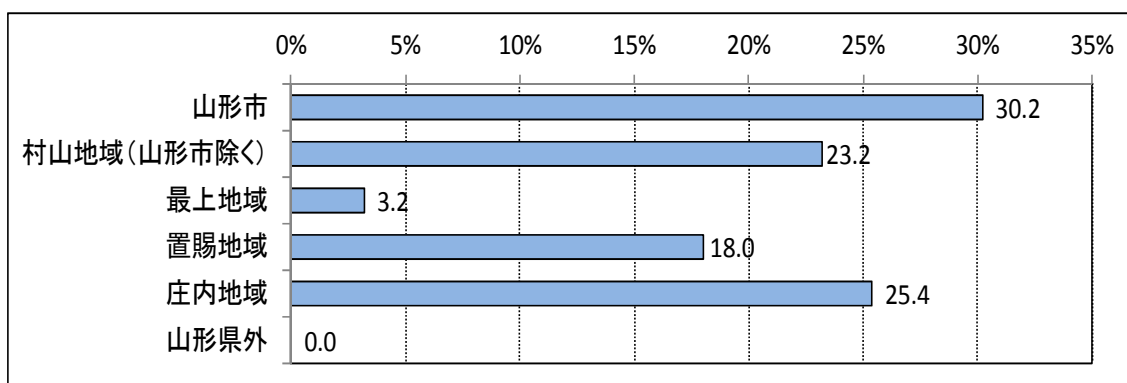
県立図書館に関するニーズ把握のため、インターネットを利用したアンケート調査と聞き取り調査を実施した。

1. インターネット利用によるアンケート調査

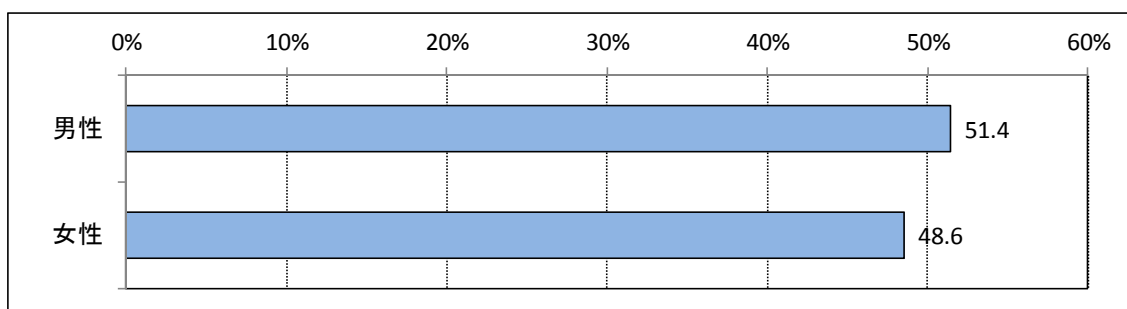
インターネットを利用したアンケート調査では、調査会社の県内モニター1,450人に対して実施した。

(1) 単純集計結果

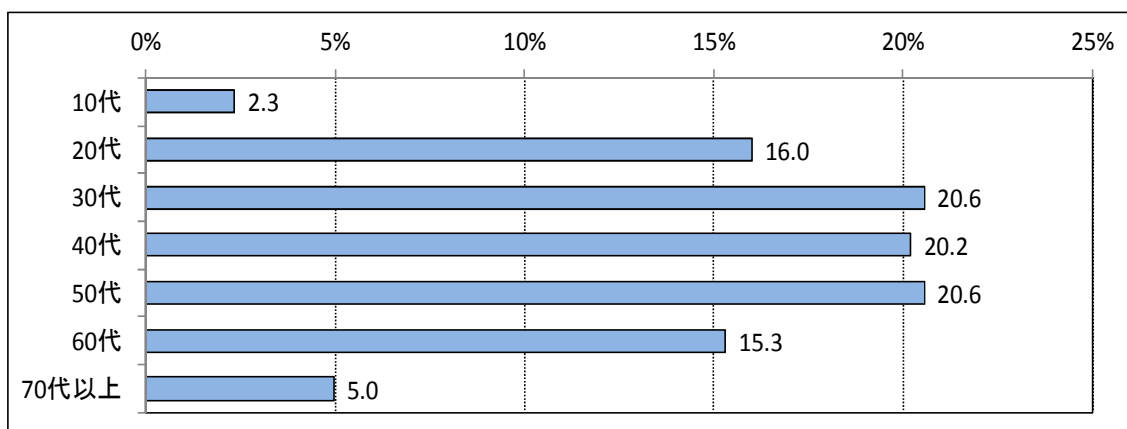
問1. あなたの居住地をお答えください。(SA：シングルアンサー(単一回答))



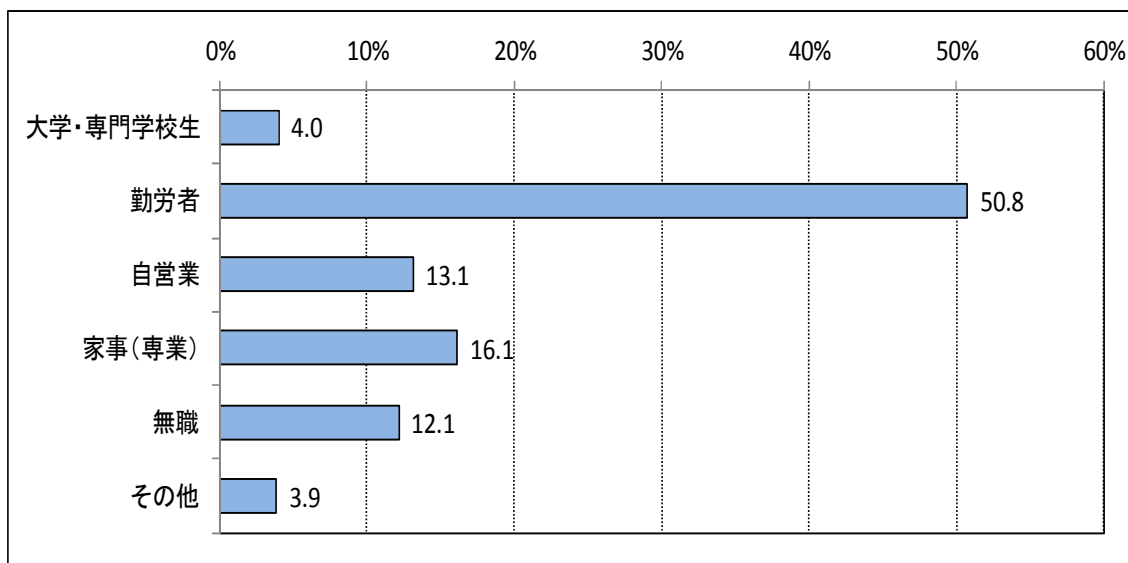
問2. あなたの性別をお答えください。(SA)



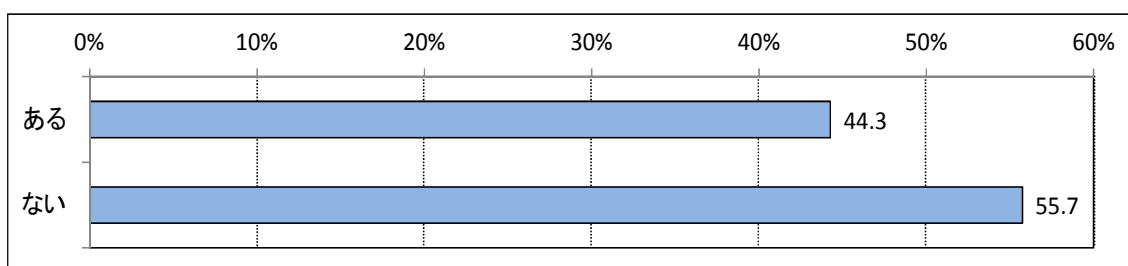
問3. あなたの年齢をお答えください。(SA)



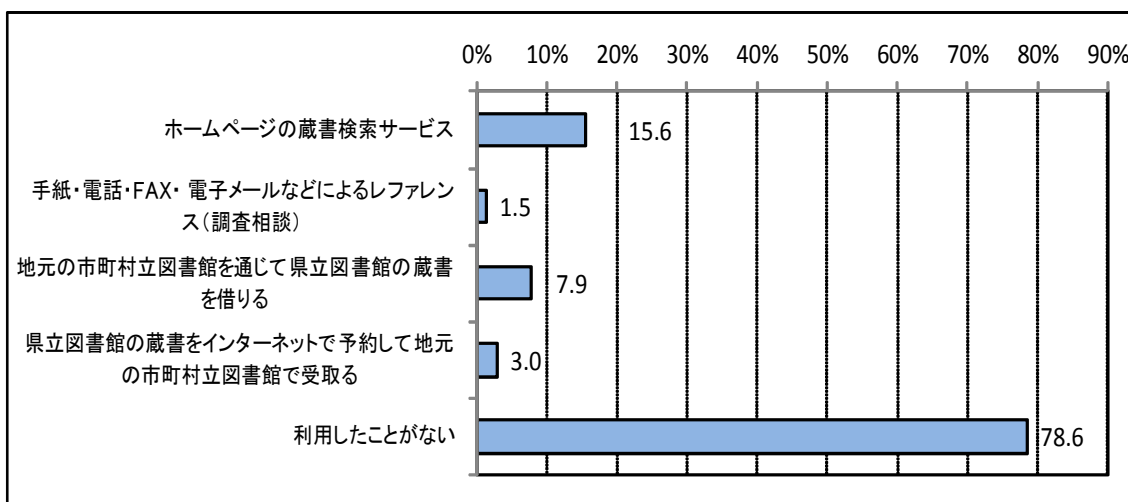
問 4. あなたの職業をお答えください。(SA)



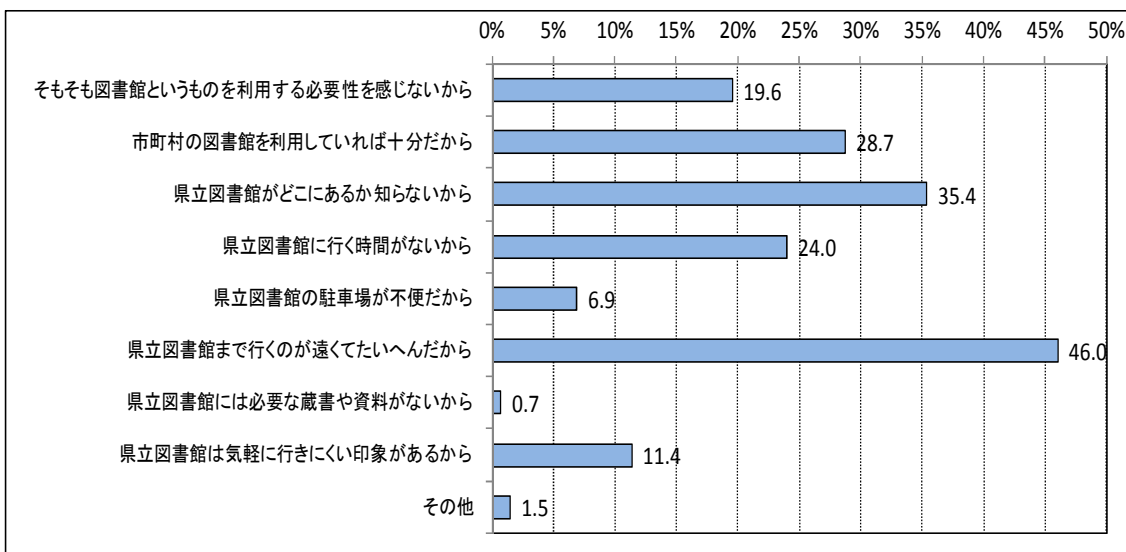
問 5. 山形県立図書館を来館して利用したことがありますか。(SA)



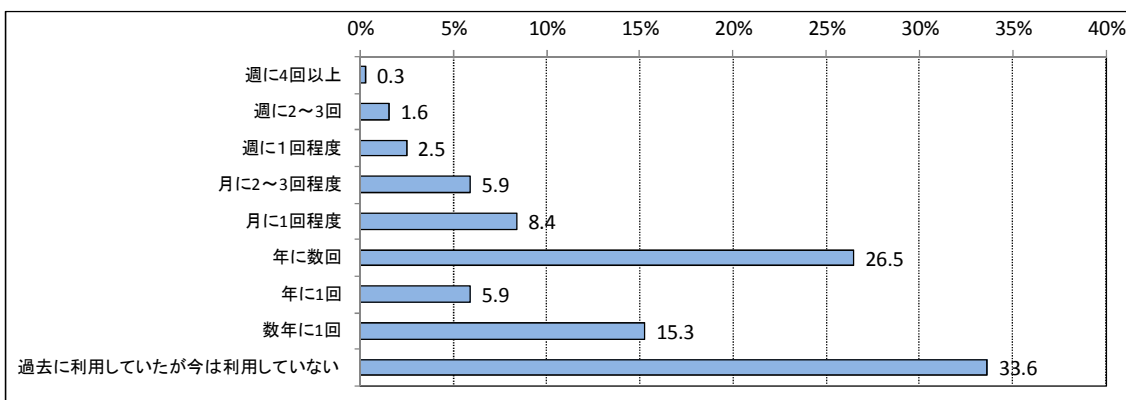
問 6. 以下のサービスは山形県立図書館に来館しなくとも利用することができますが、利用したことがありますか。(MA：マルチアンサー(複数回答))



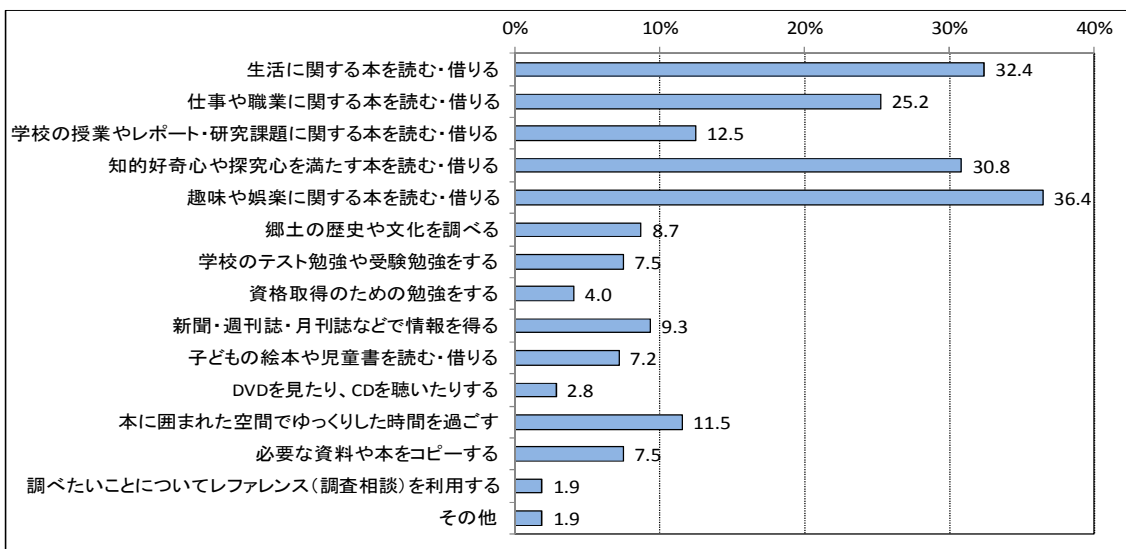
問 7. 山形県立図書館を来館して利用したことがない理由は何ですか（最大 3 つまで選んでください）。(MA)



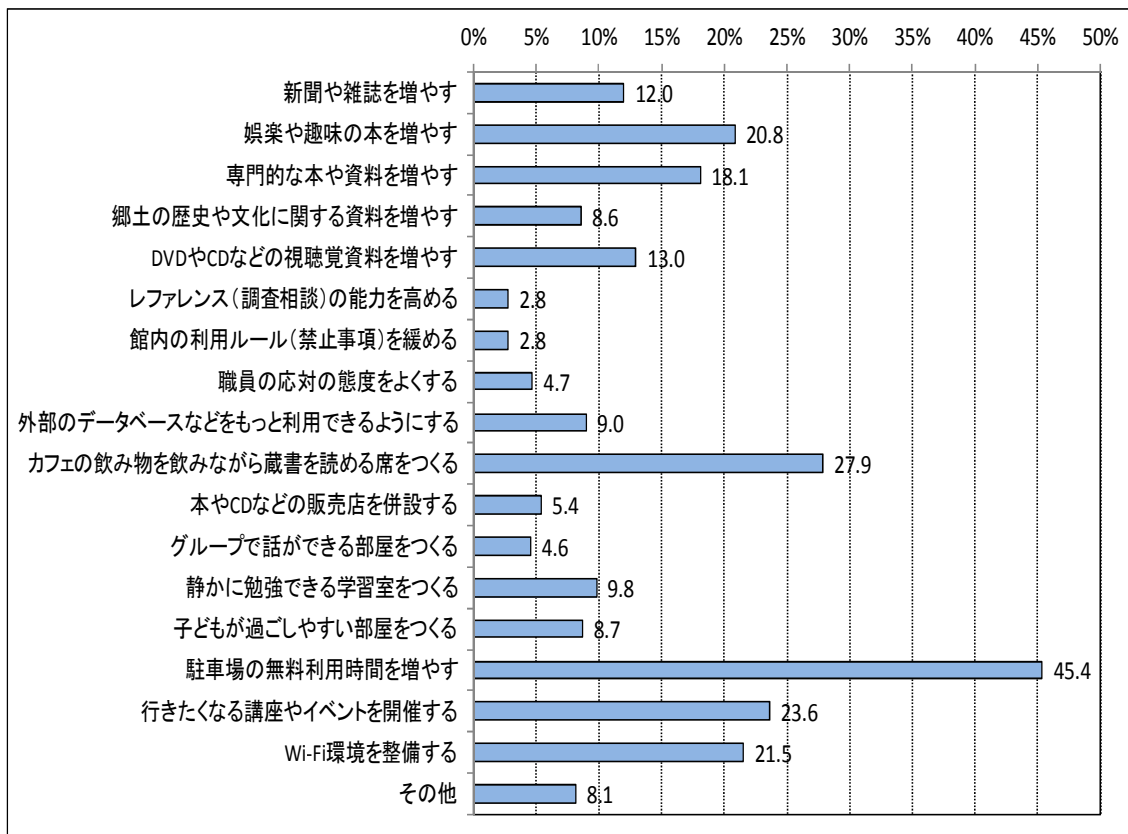
問 8. 山形県立図書館をどのくらいの頻度で利用していますか。(SA)



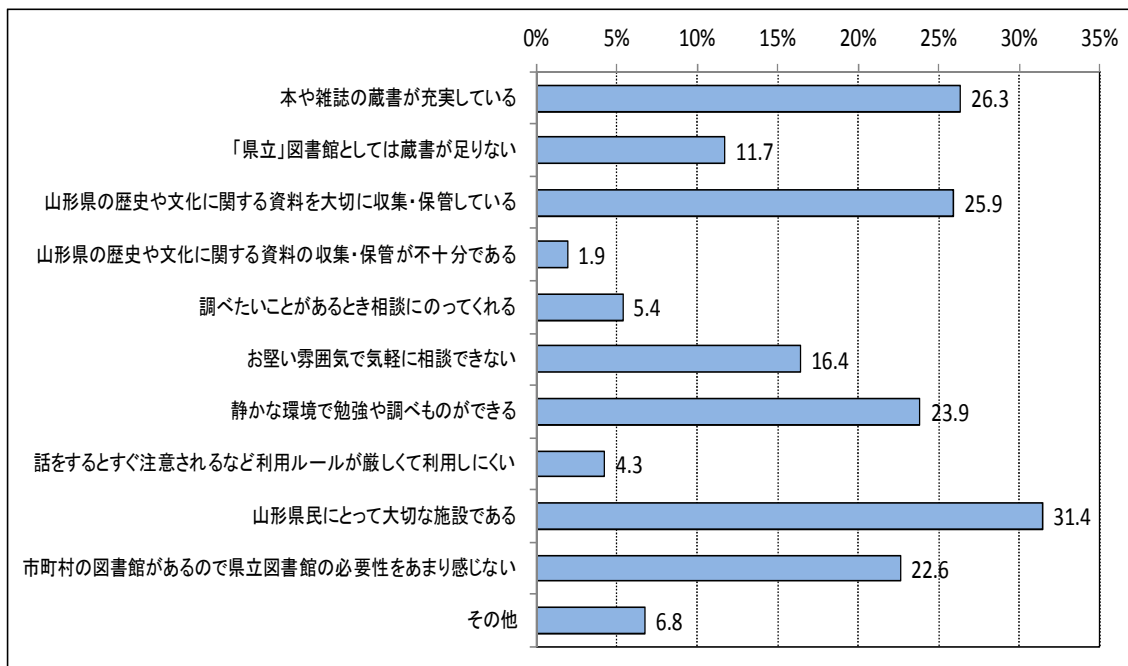
問 9. 山形県立図書館の利用目的は何ですか（最大 3 つまで選んでください）。(MA)



問 10. 山形県立図書館が改善すべきところがあればお答えください（最大5つまで選んでください）。(MA)



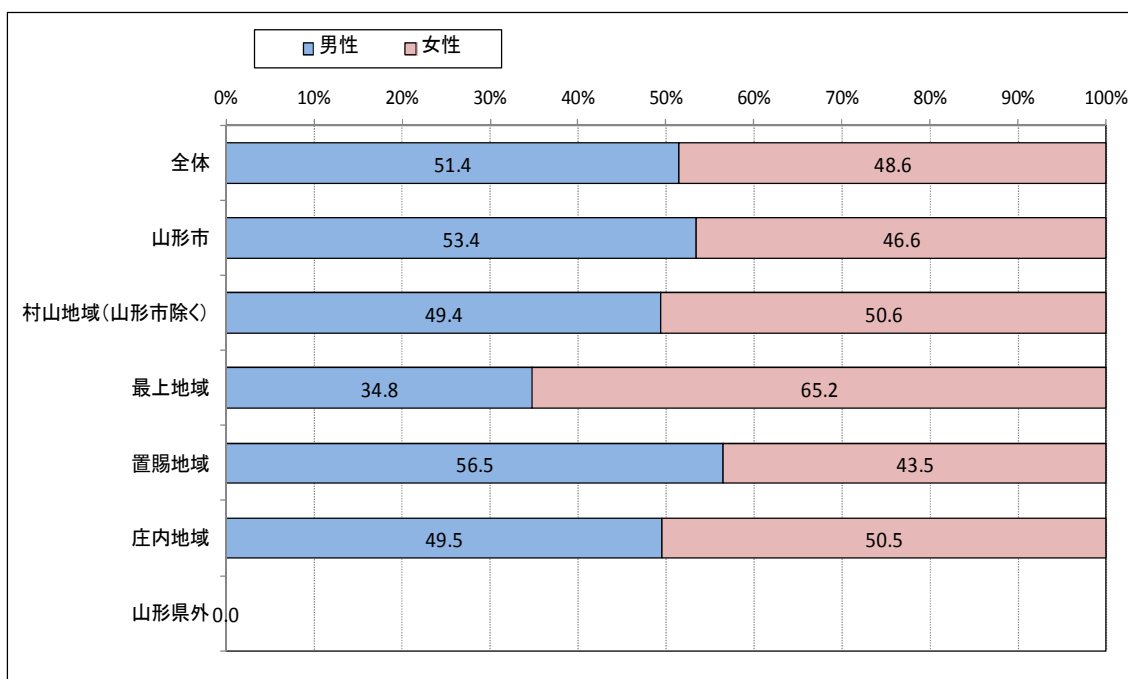
問 11. 「山形県立図書館」にどんなイメージを持っていますか（最大5つまで選んでください）。(MA)



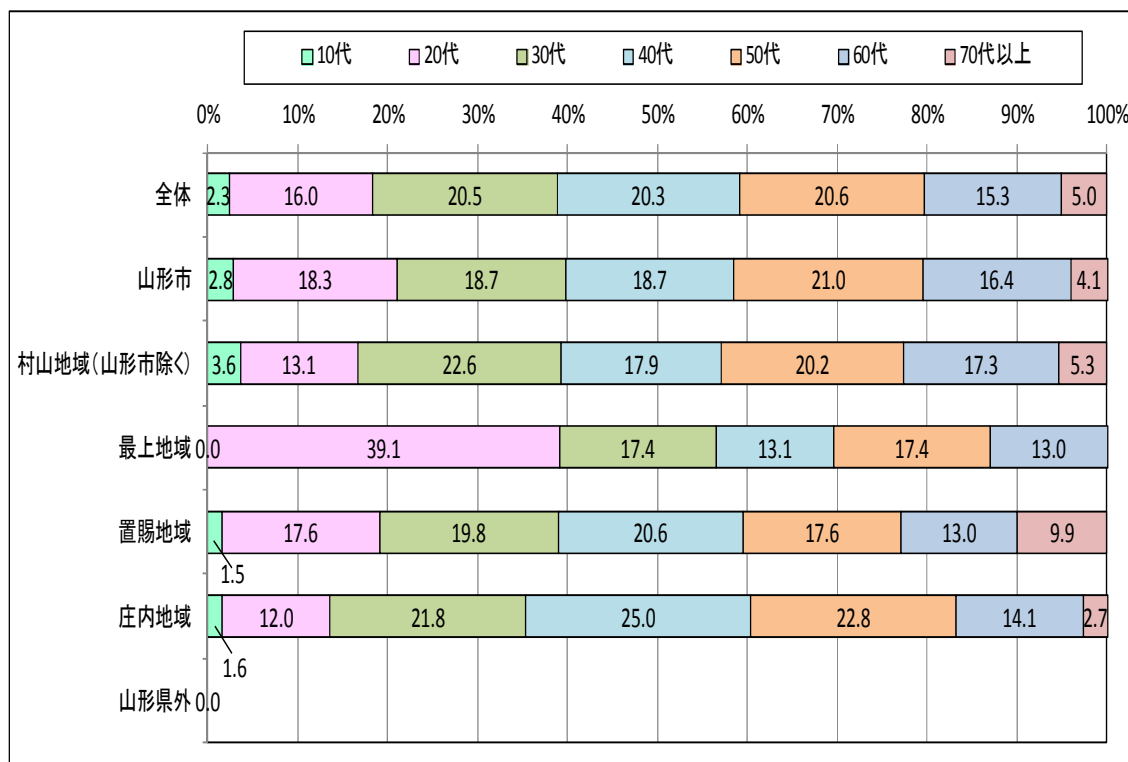
(2) クロス集計結果

① 地域別

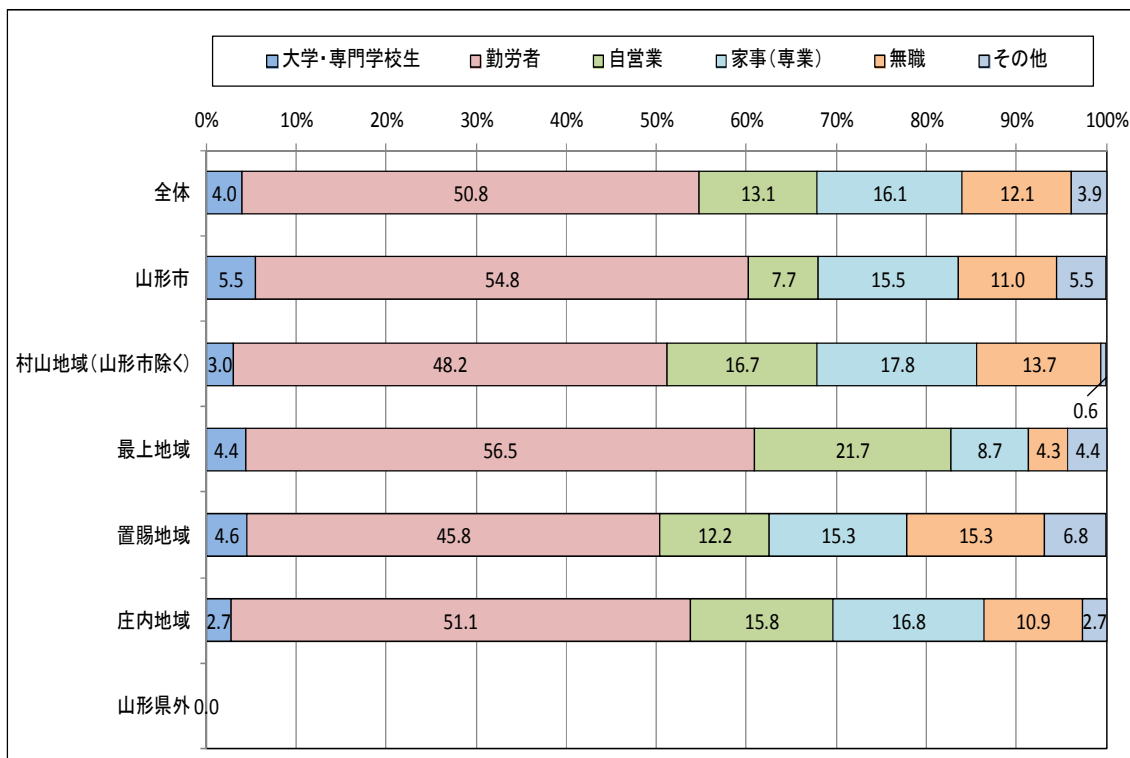
問1. あなたの性別をお答えください。(SA)



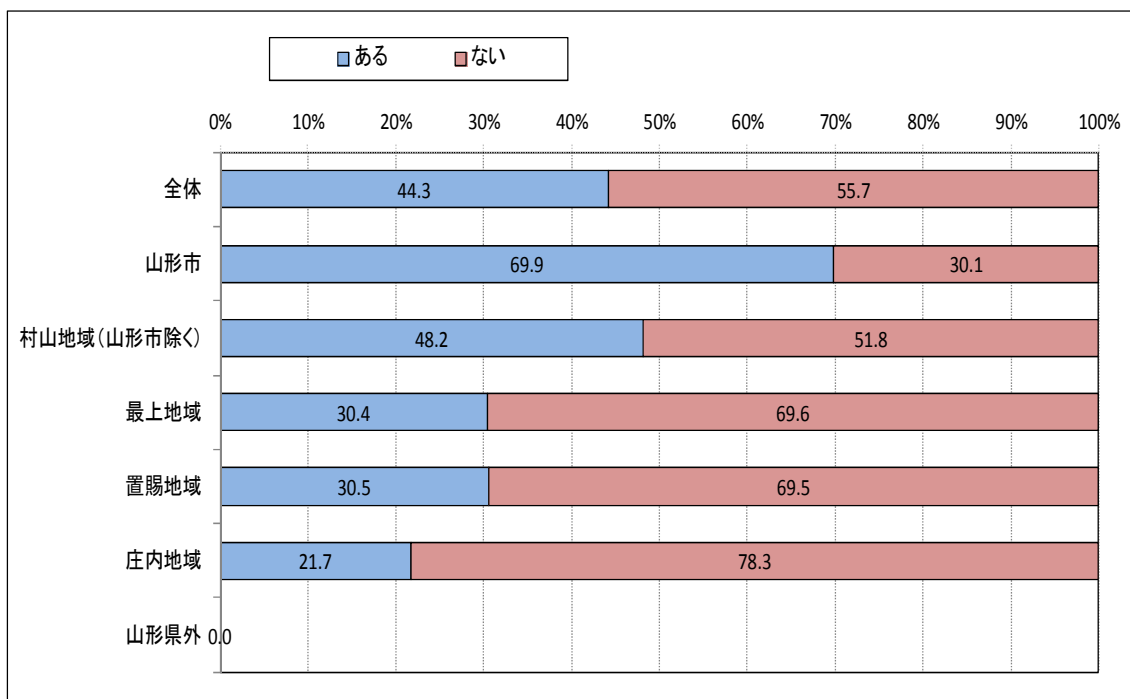
問2. あなたの年齢をお答えください。(SA)



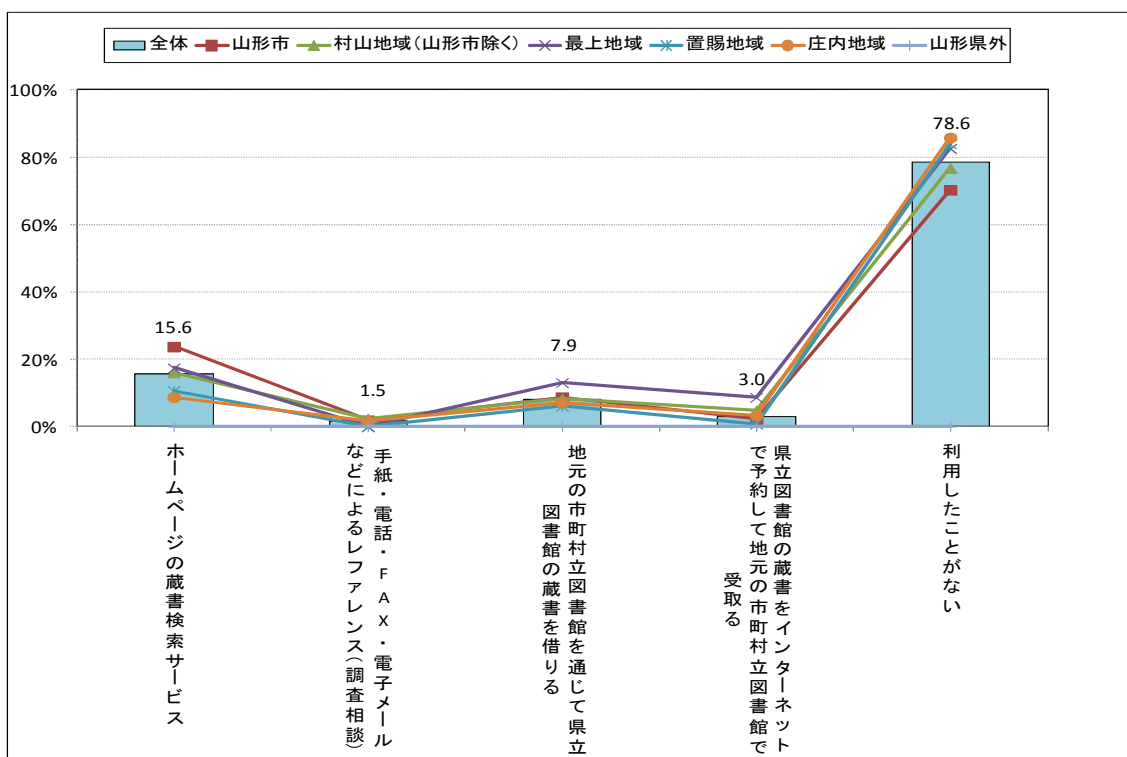
問 3. あなたの職業をお答えください。(SA)



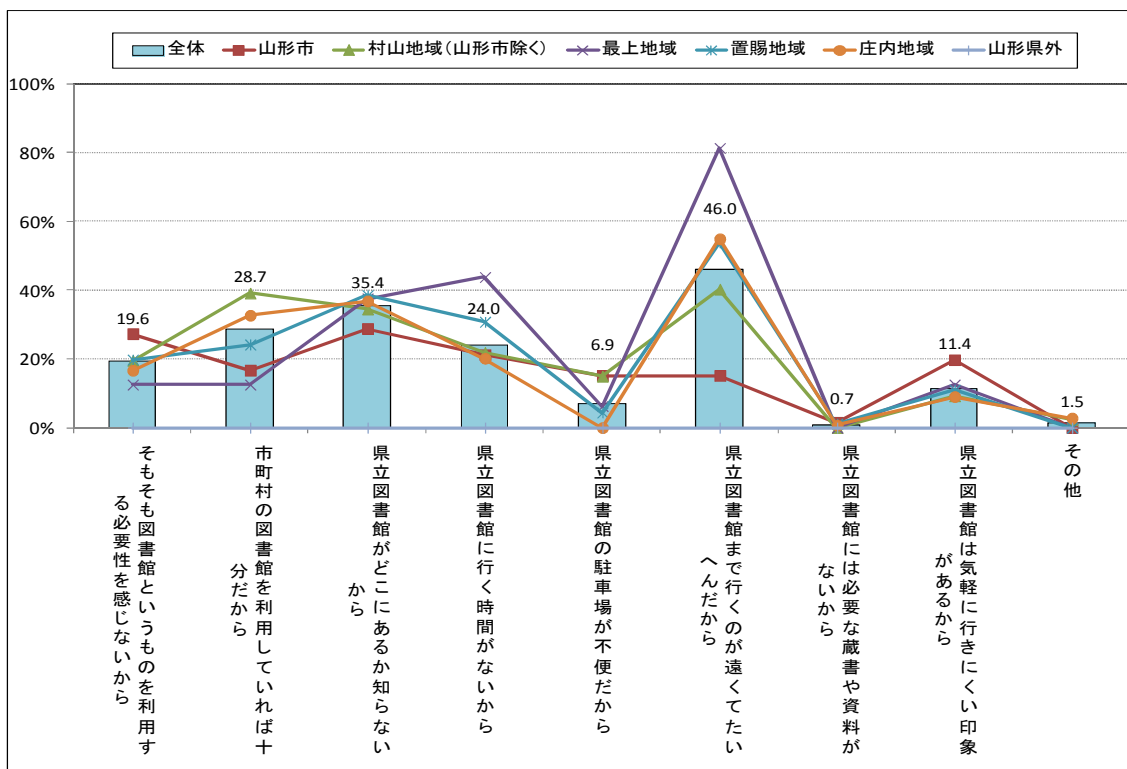
問 4. 山形県立図書館を来館して利用したことがありますか。(SA)



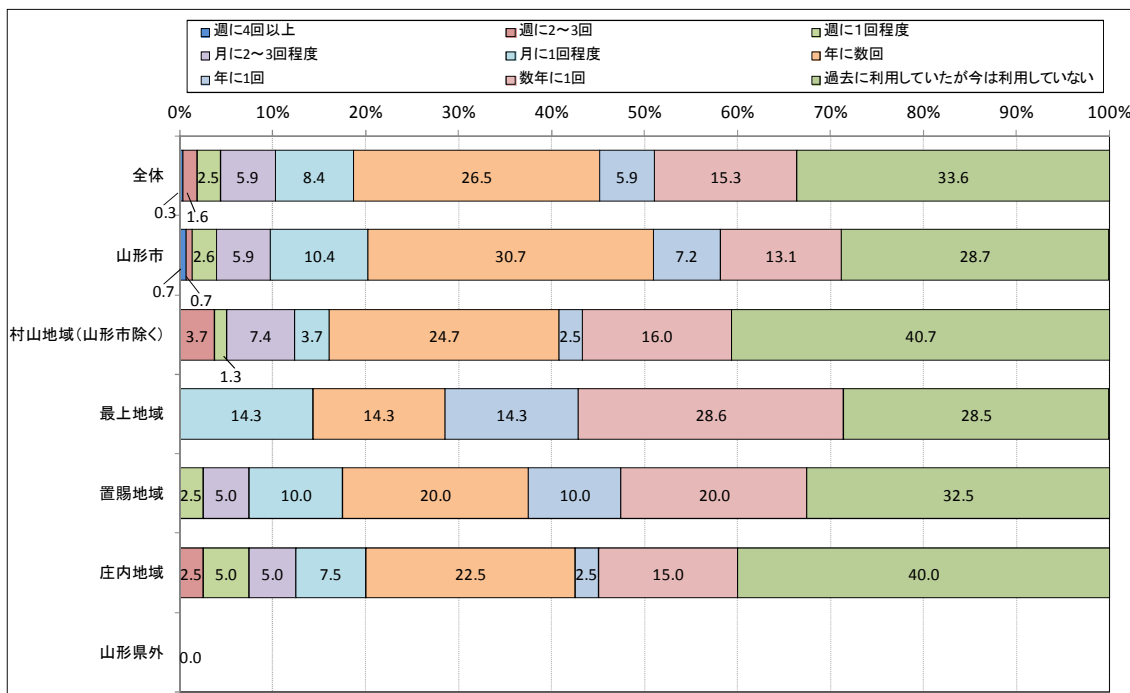
問 5. 以下のサービスは山形県立図書館に来館しなくとも利用することができますが、利用したことがありますか。(MA)



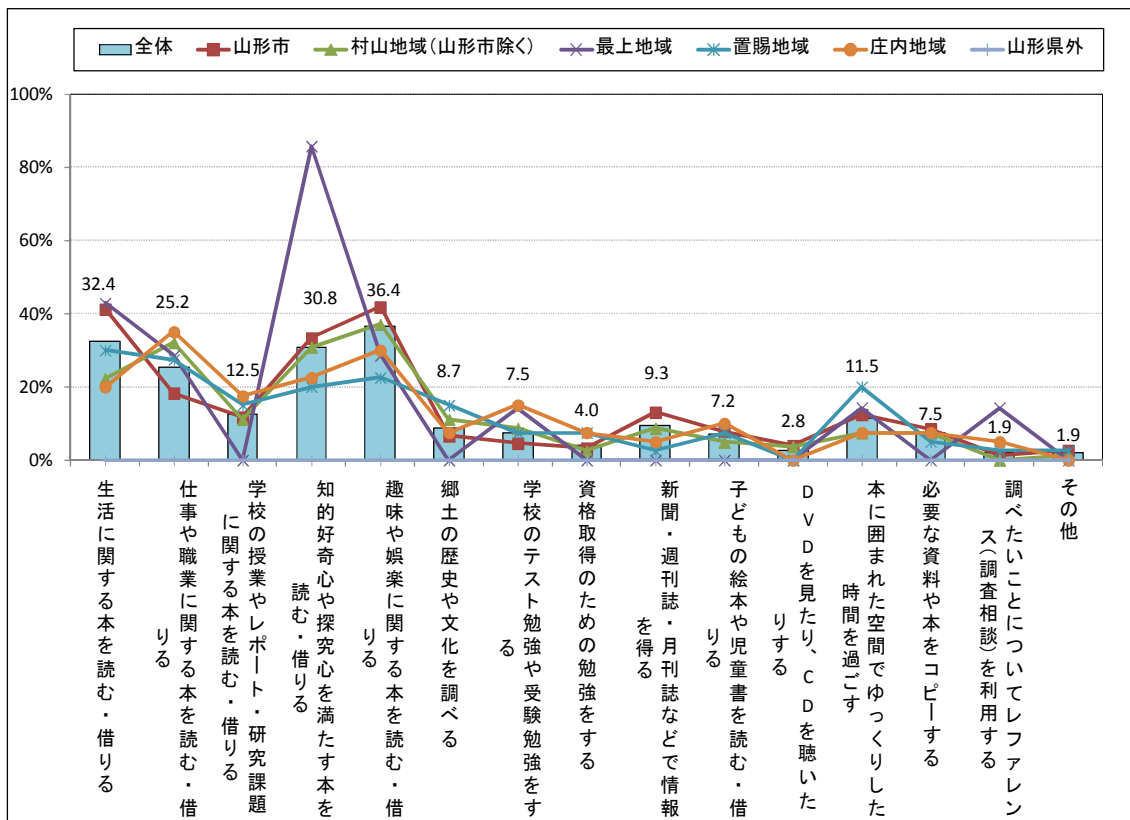
問 6. 山形県立図書館を来館して利用したことがない理由は何ですか(最大3つまで選んでください)。(MA)



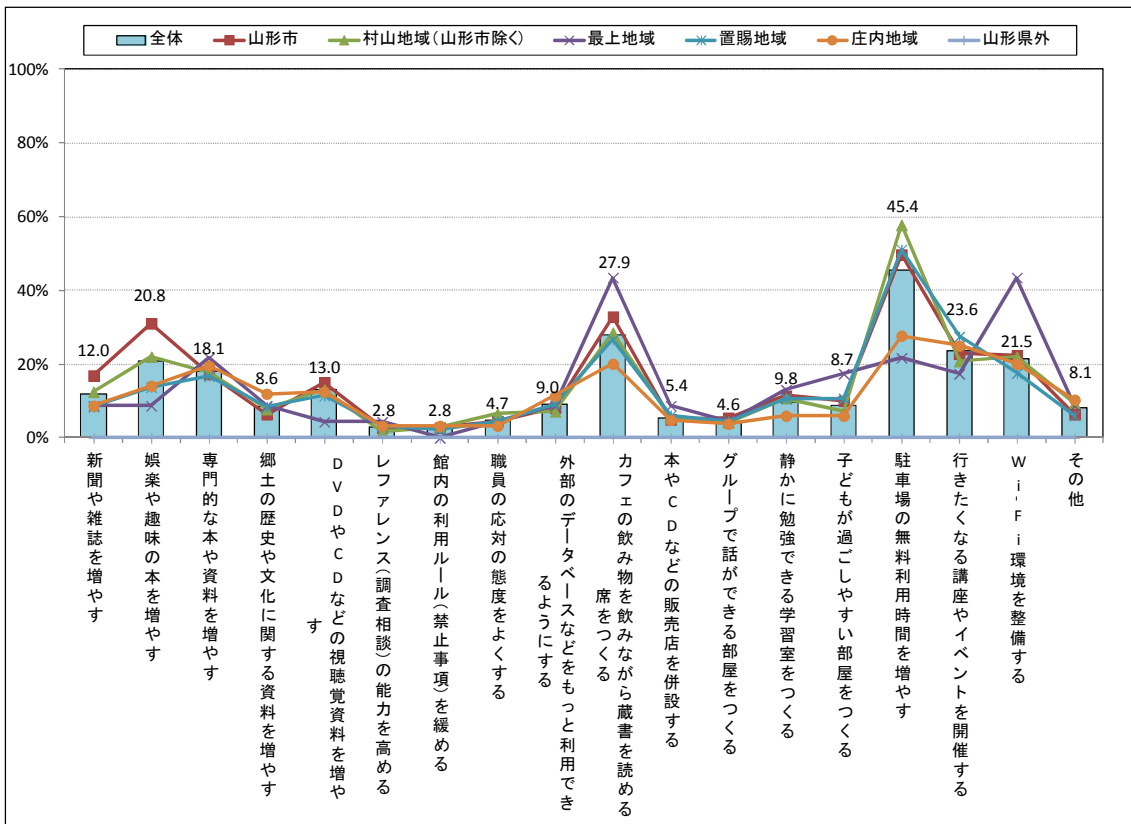
問7. 山形県立図書館をどのくらいの頻度で利用していますか。(SA)



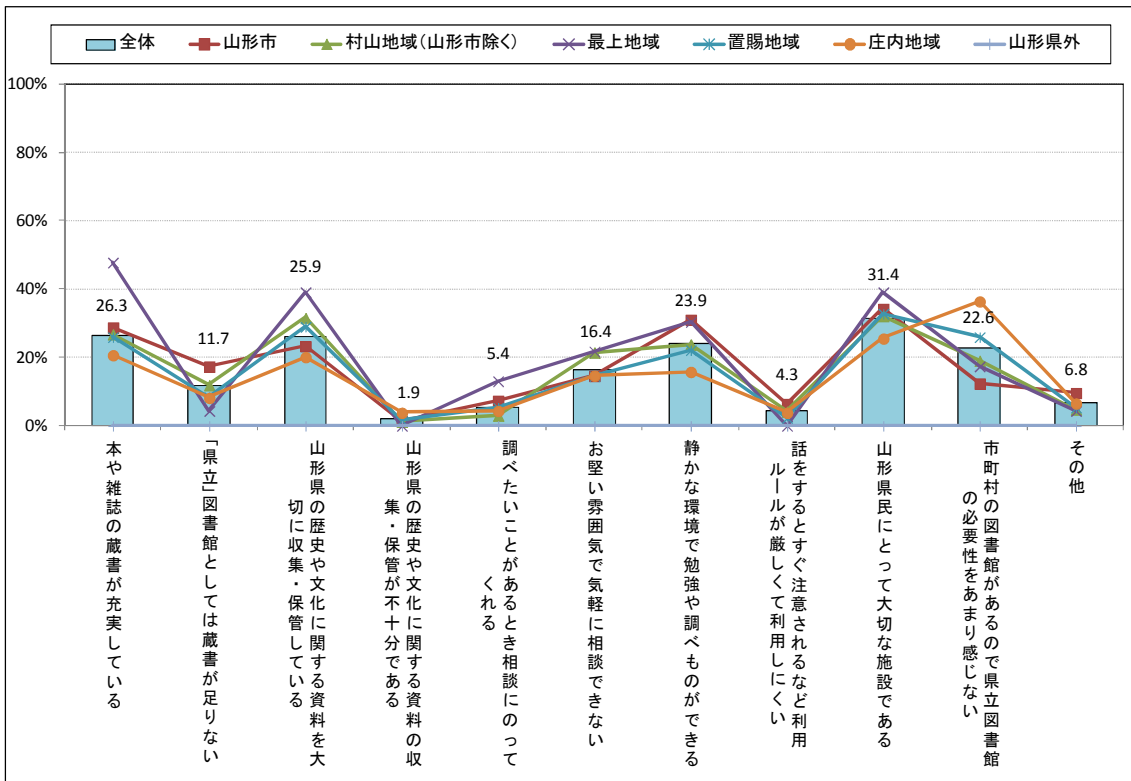
問8. 山形県立図書館の利用目的は何ですか（最大3つまで選んでください）。(MA)



問9. 山形県立図書館が改善すべきところがあればお答えください（最大5つまで選んでください）。（MA）

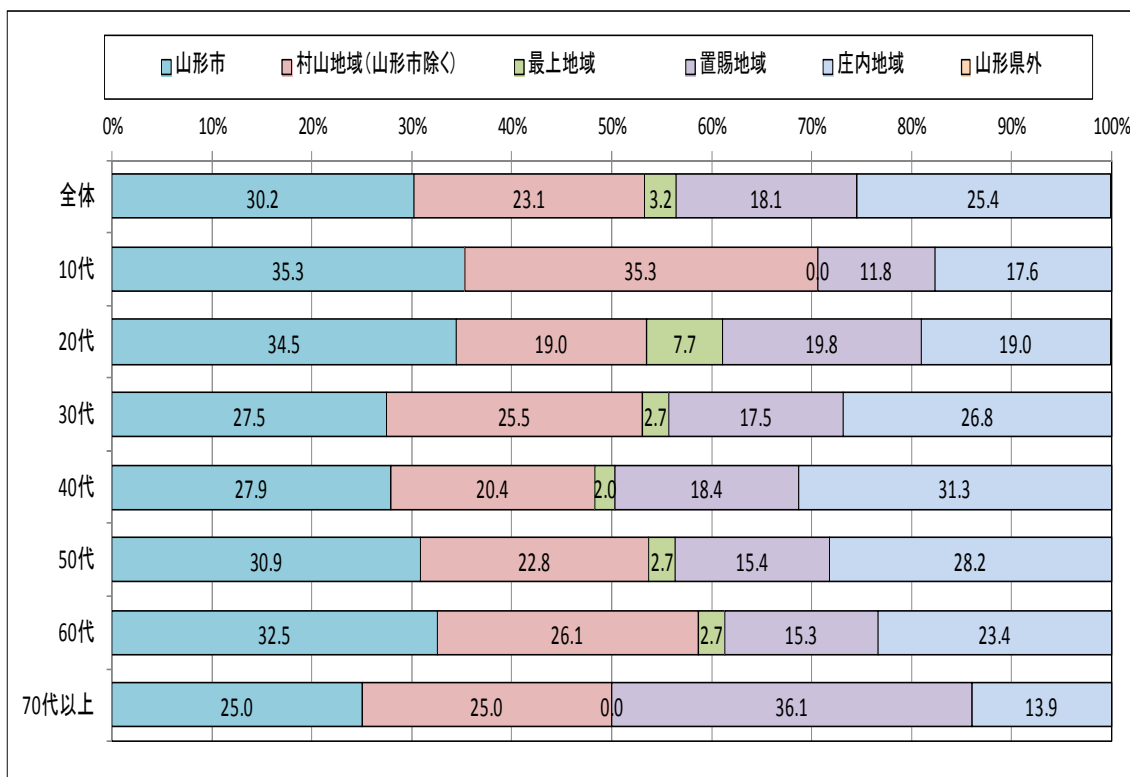


問10. 「山形県立図書館」にどんなイメージを持っていますか（最大5つまで選んでください）。（MA）

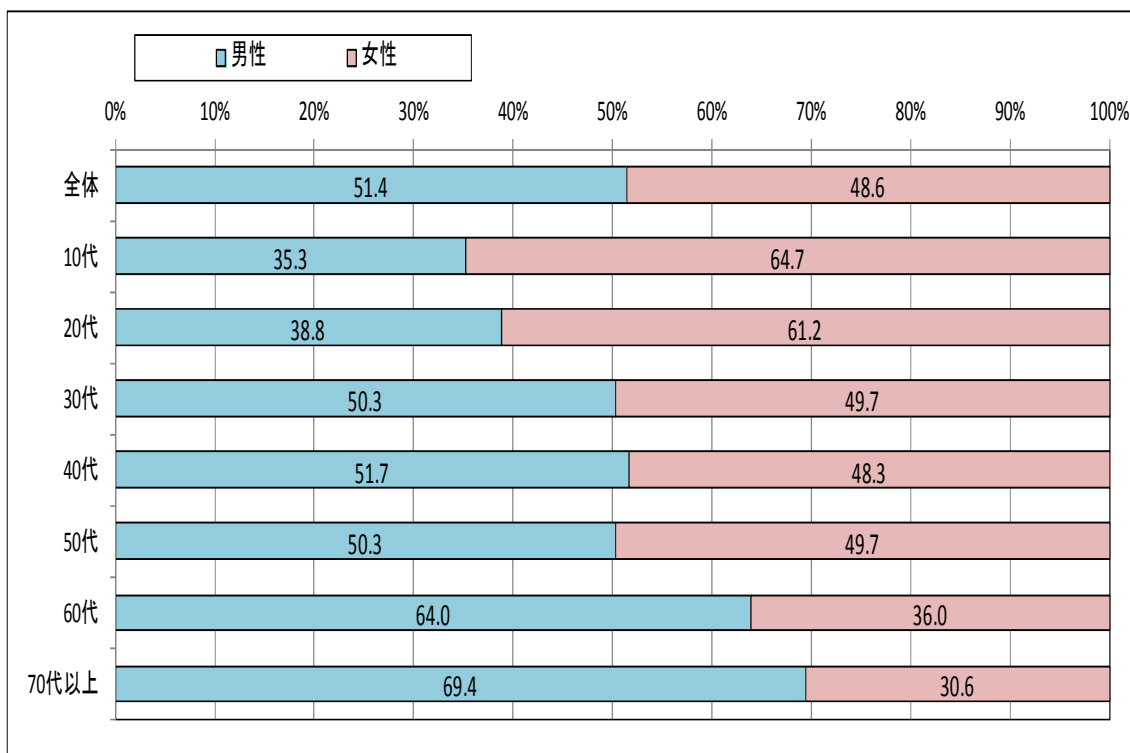


② 年齢別

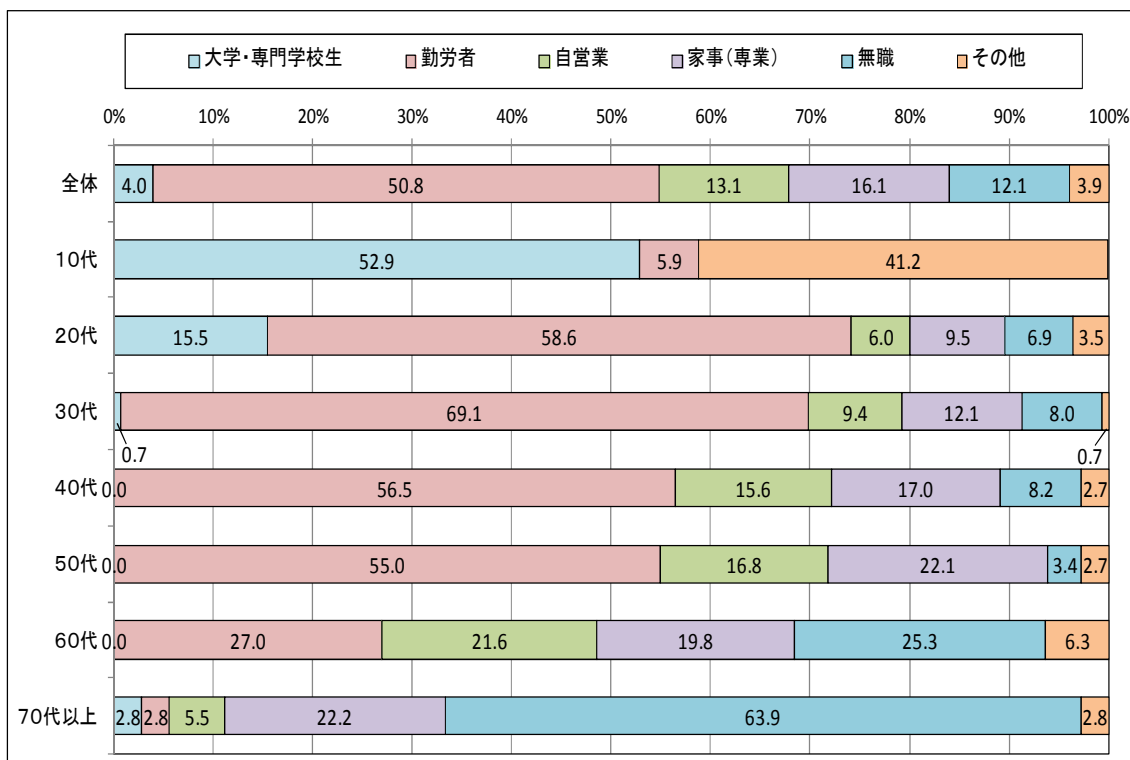
問 1. あなたの居住地域をお答えください。(SA)



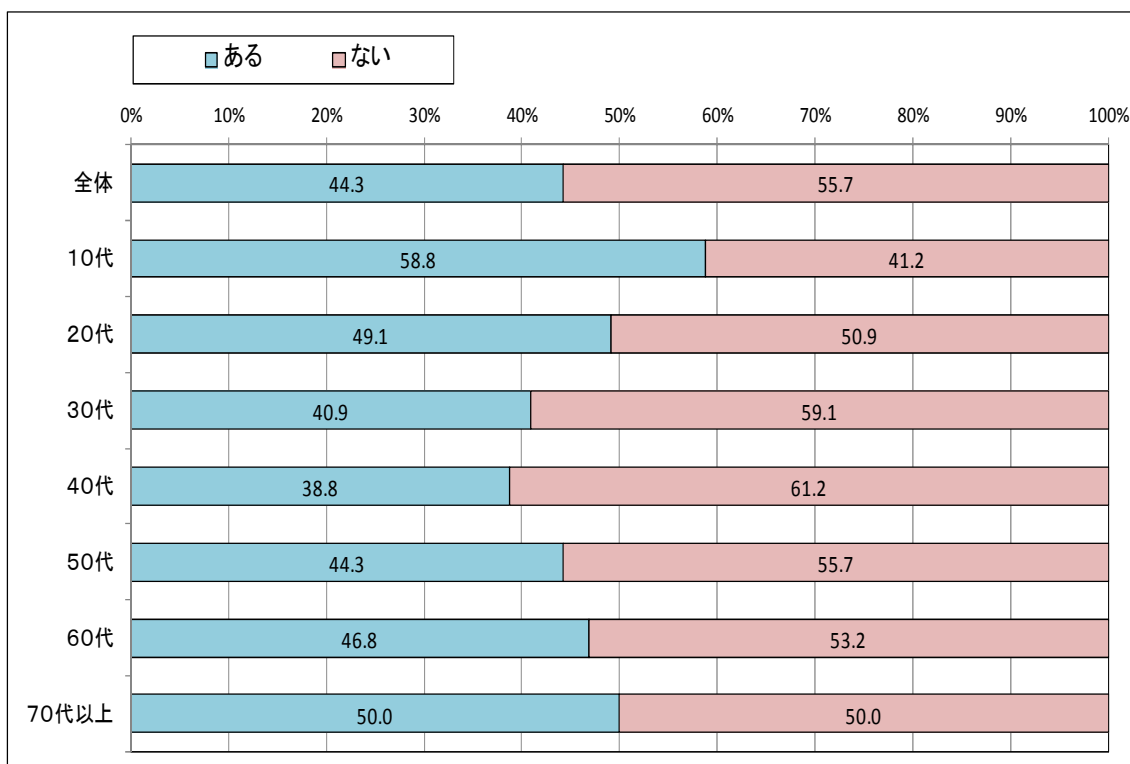
問 2. あなたの性別をお答えください。(SA)



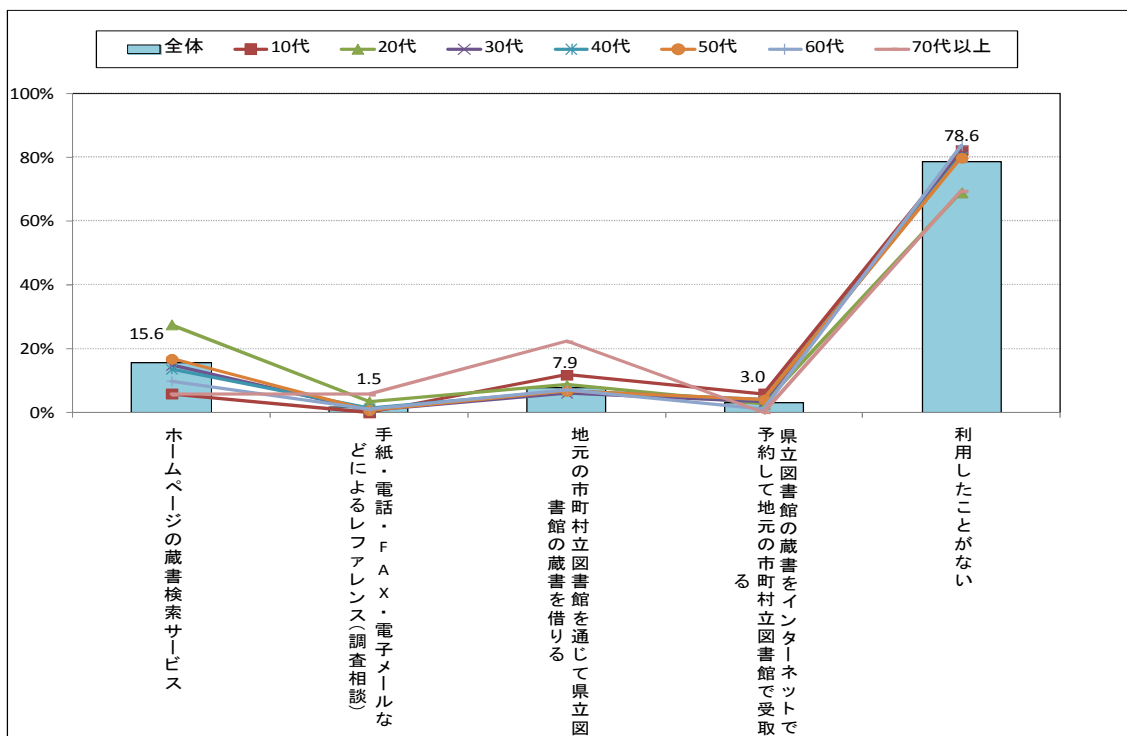
問 3. あなたの職業をお答えください。(SA)



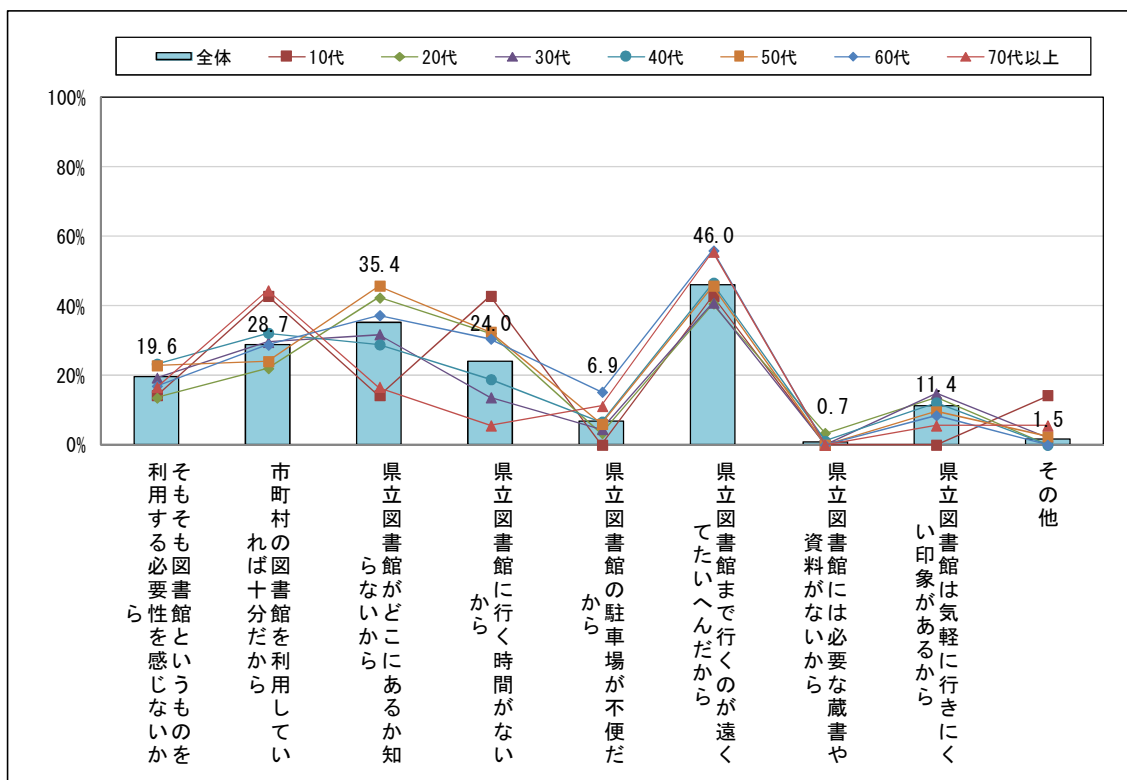
問 4. 山形県立図書館を来館して利用したことがありますか。(SA)



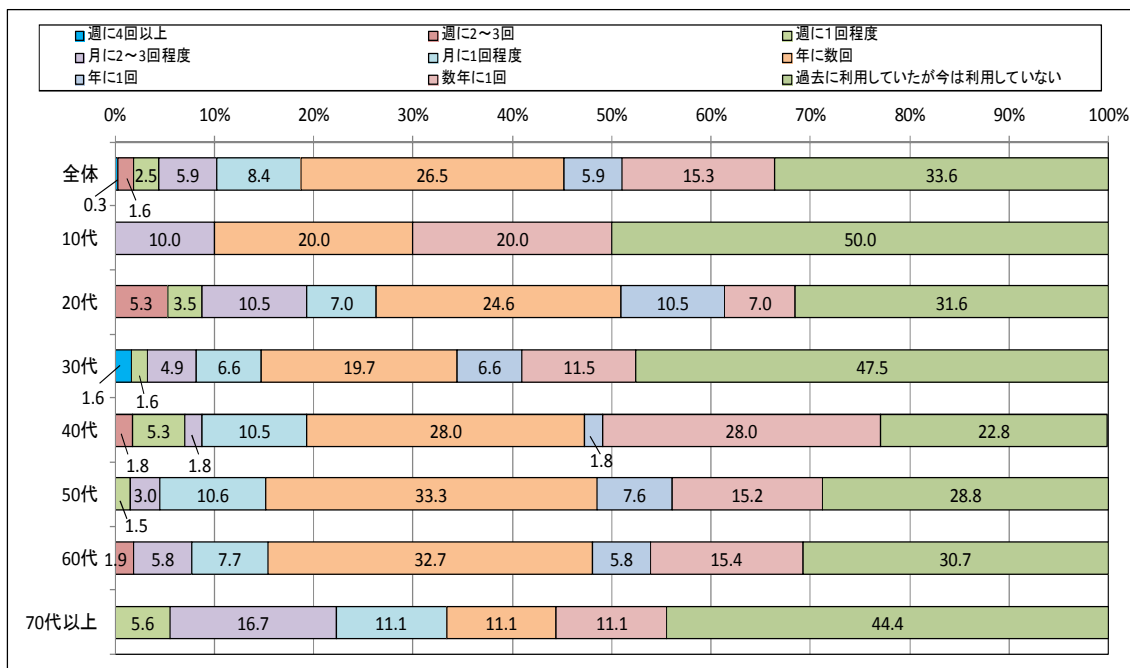
問5. 以下のサービスは山形県立図書館に来館しなくとも利用することができますが、利用したことがありますか。(MA)



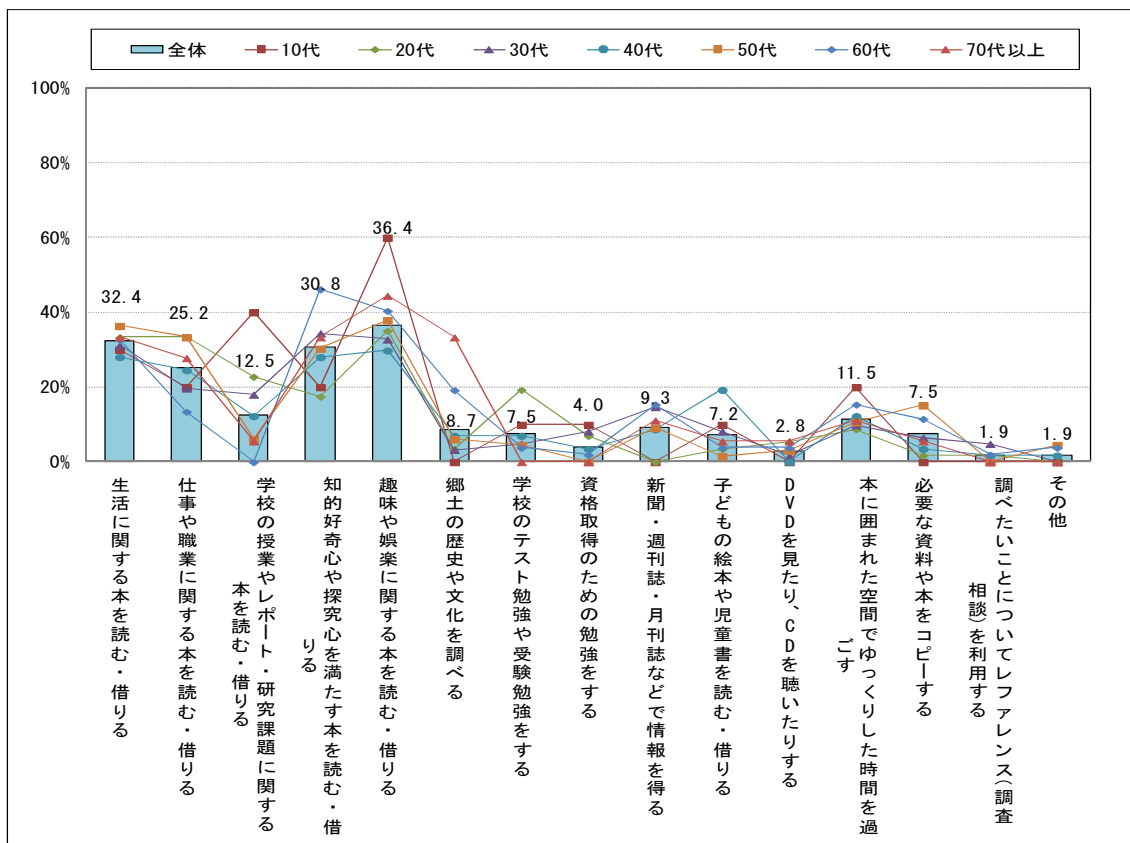
問6. 山形県立図書館を来館して利用したことがない理由は何ですか(最大3つまで選んでください)。(MA)



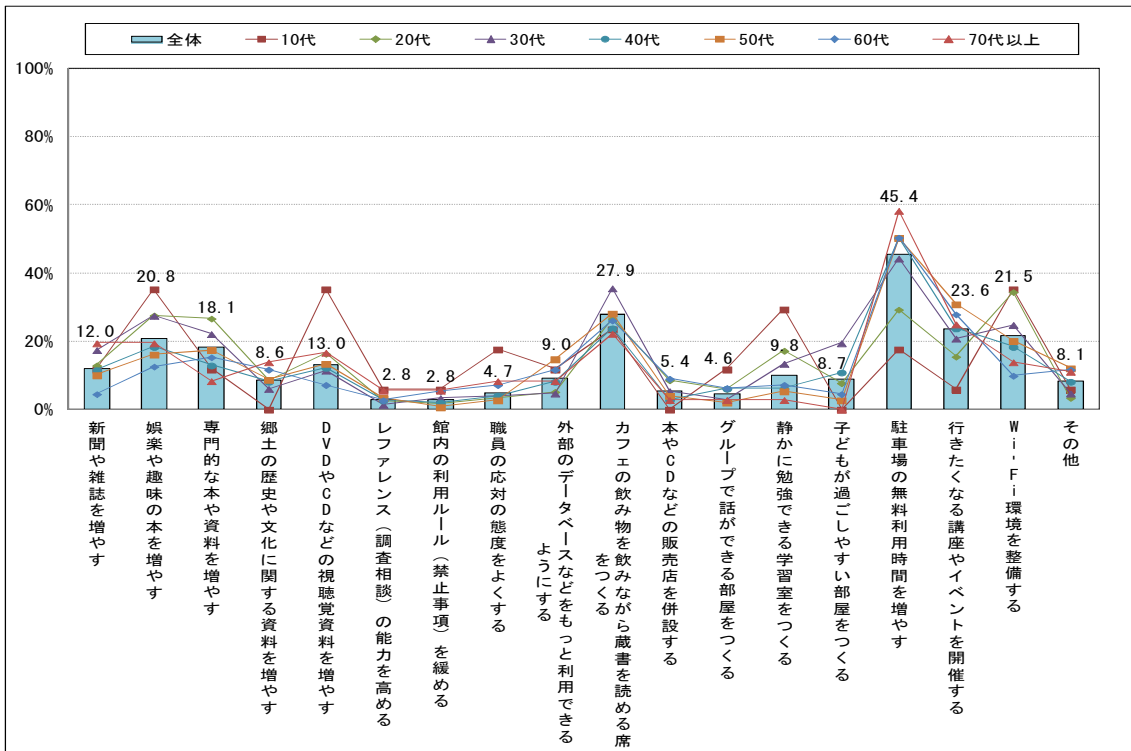
問 7. 山形県立図書館をどのくらいの頻度で利用していますか。(SA)



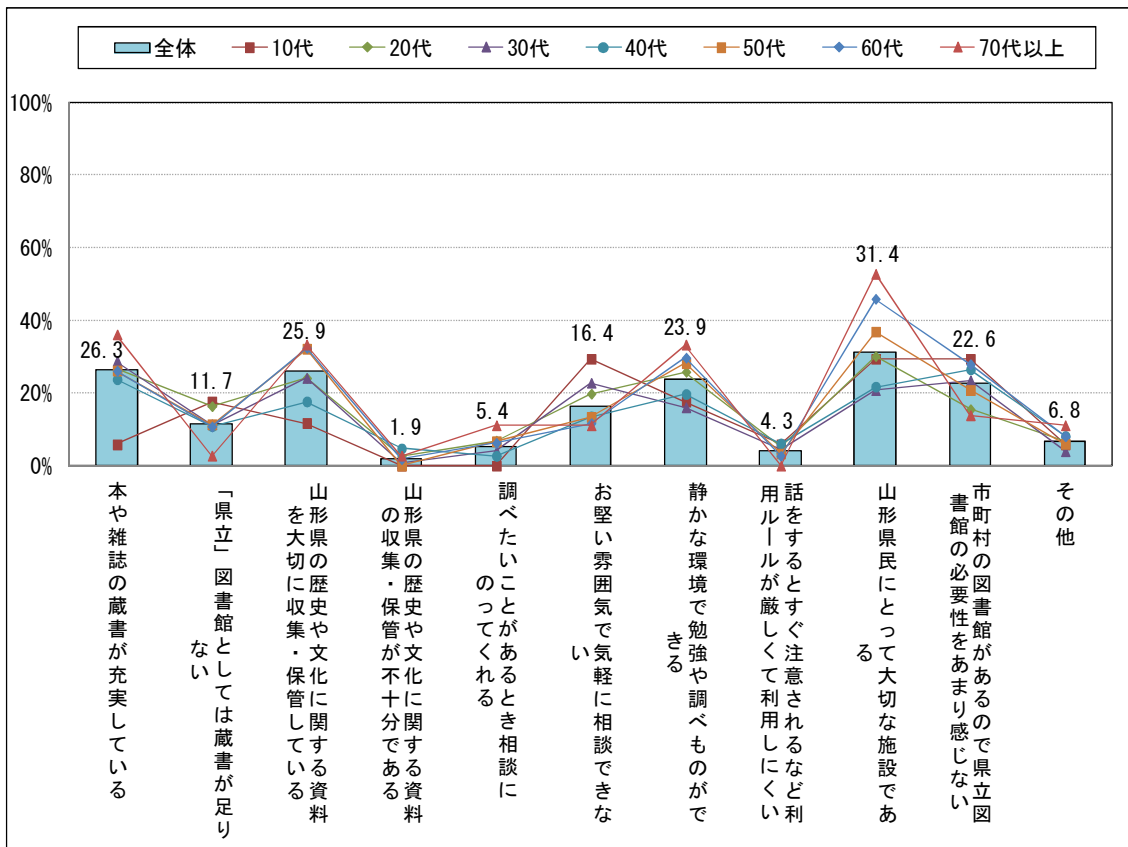
問 8. 山形県立図書館の利用目的は何ですか（最大3つまで選んでください）。(MA)



問 9. 山形県立図書館が改善すべきところがあればお答えください（最大5つまで選んでください）。(MA)

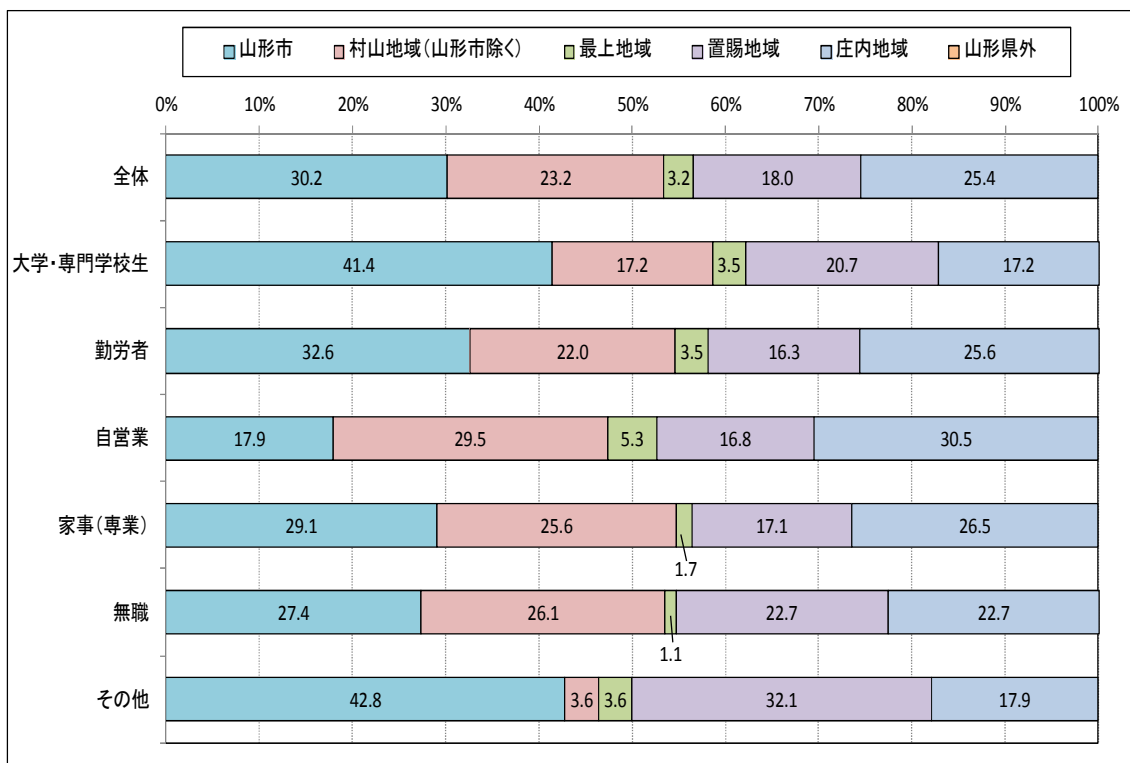


問 10. 「山形県立図書館」にどんなイメージを持っていますか（最大5つまで選んでください）。(MA)

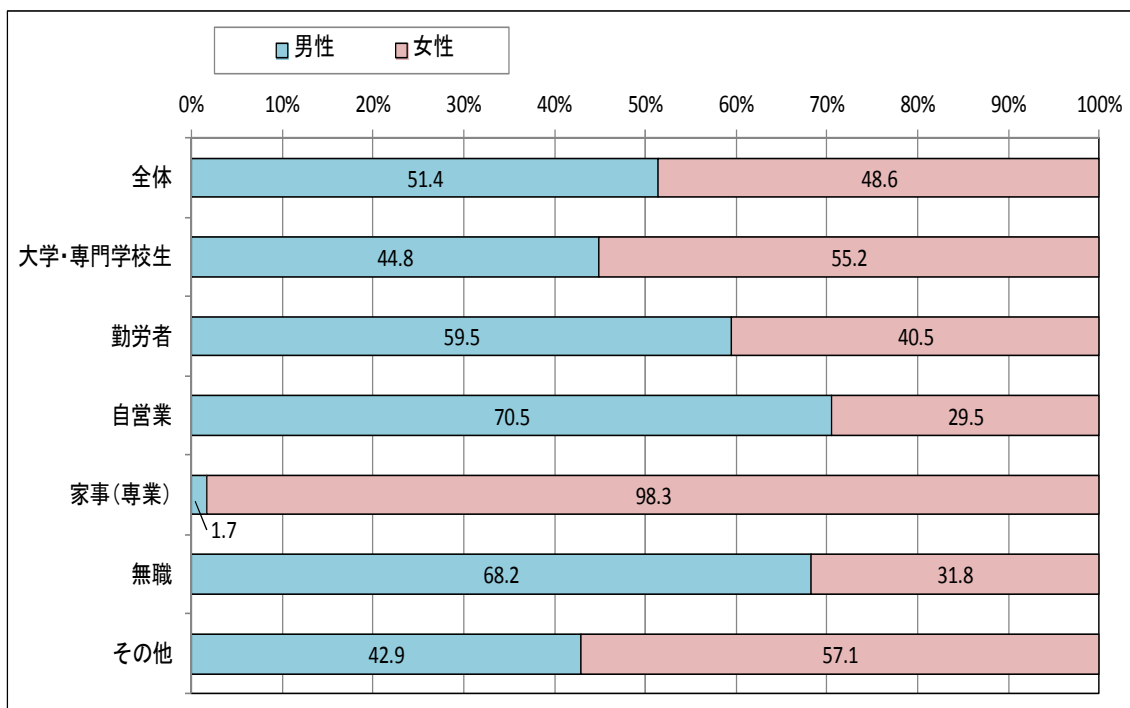


③ 職業別

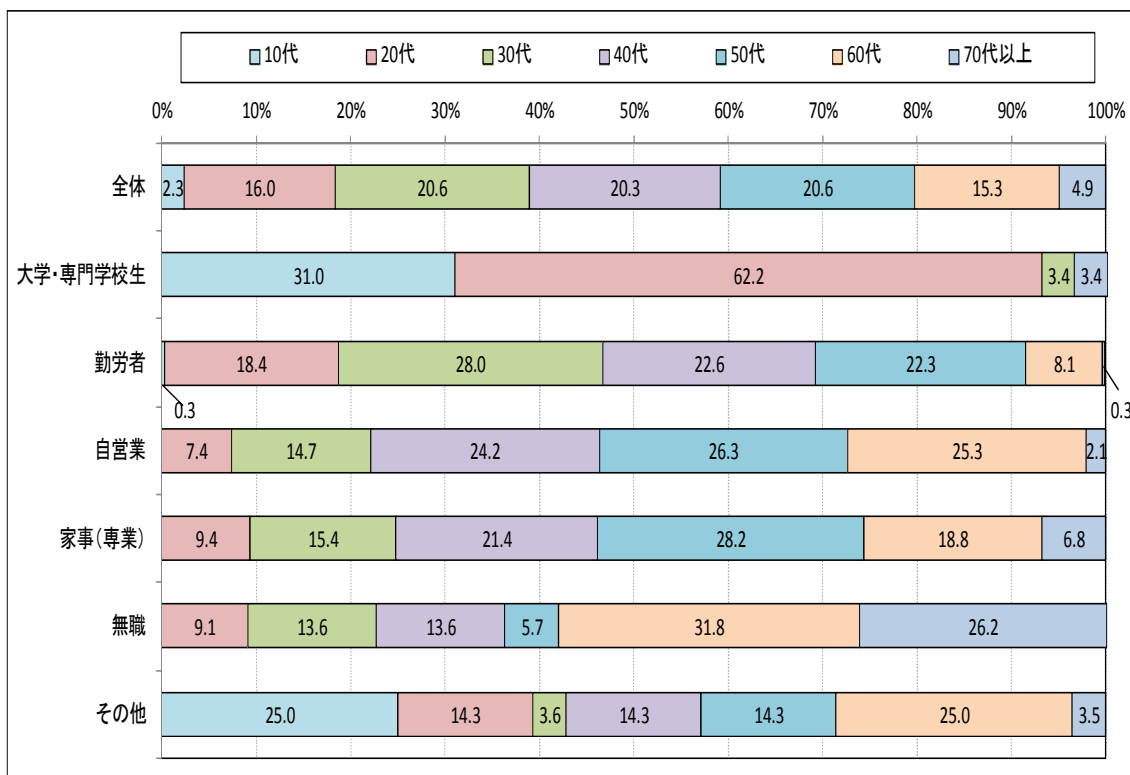
問 1. あなたの居住地域をお答えください。(SA)



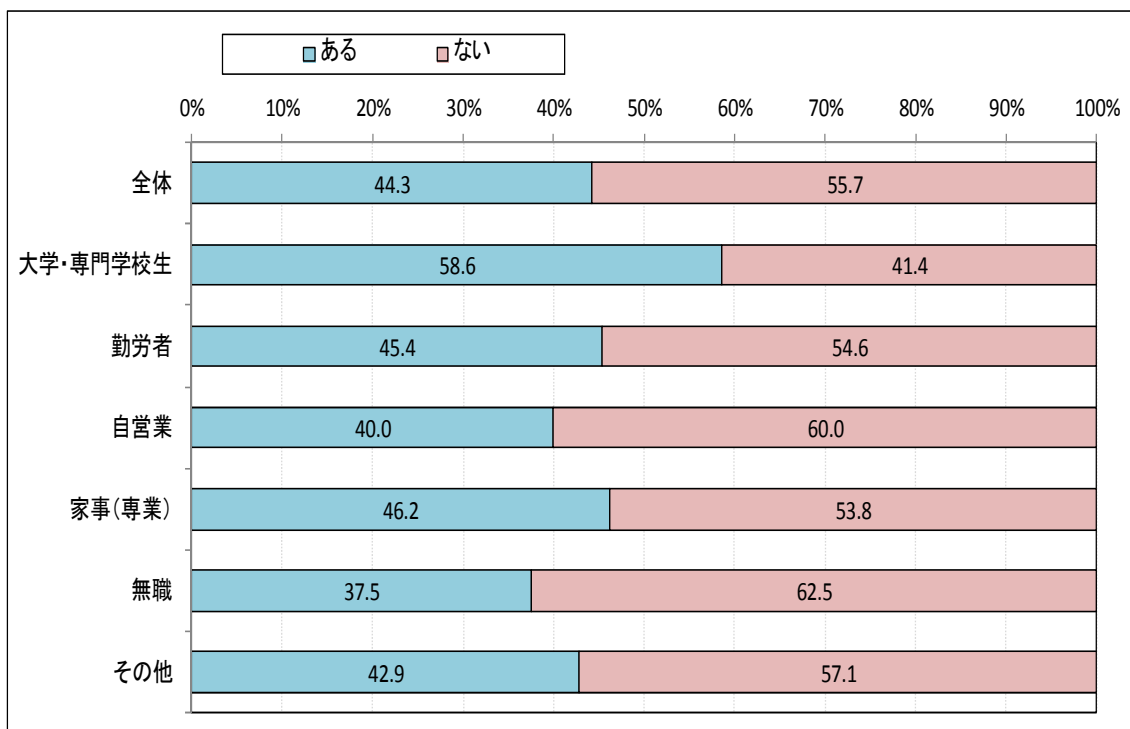
問 2. あなたの性別をお答えください。(SA)



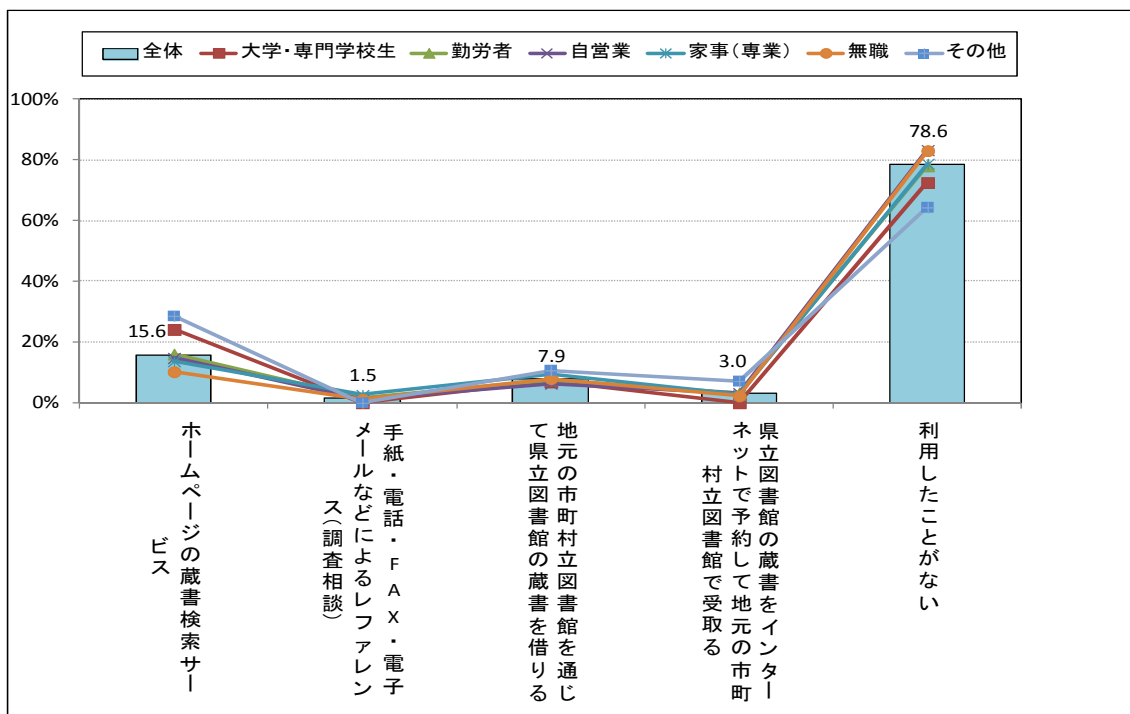
問 3. あなたの年齢をお答えください。(SA)



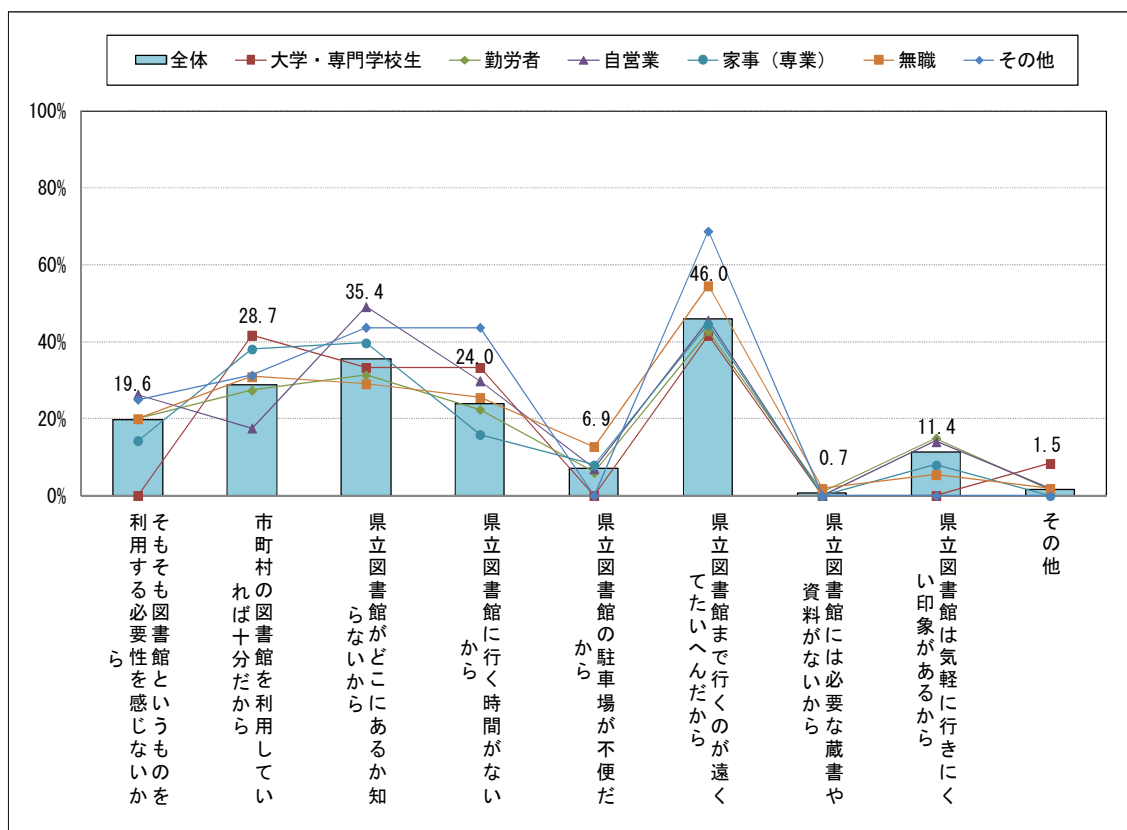
問 4. 山形県立図書館を来館して利用したことがありますか。(SA)



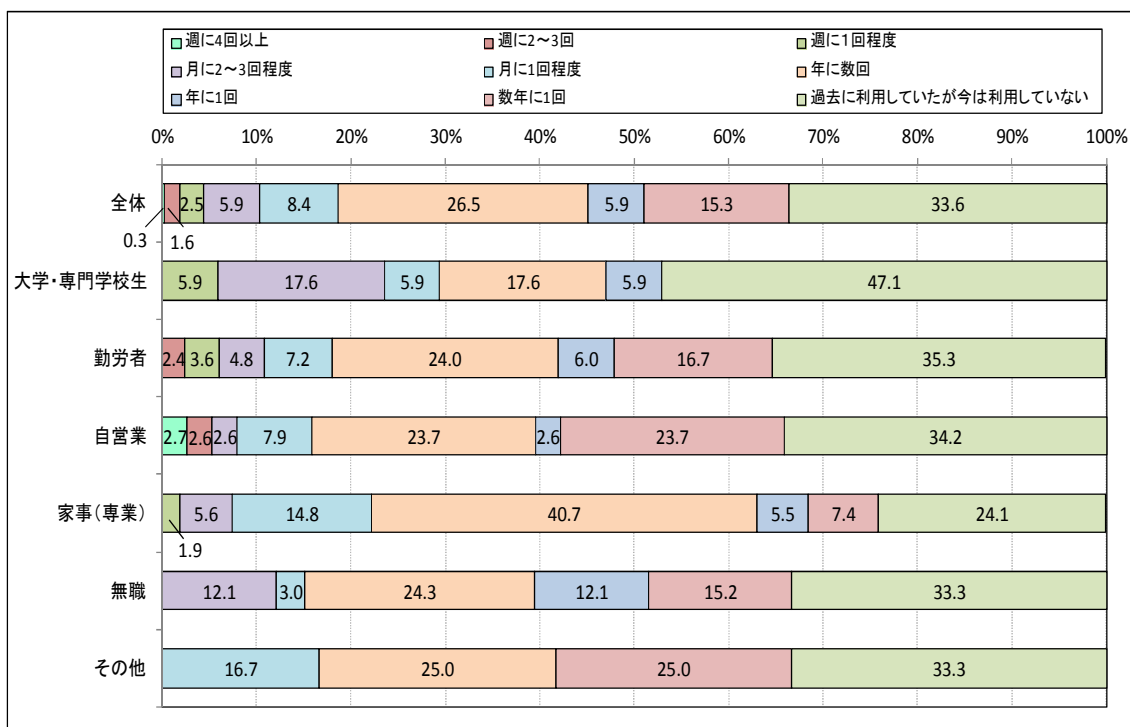
問5. 以下のサービスは山形県立図書館に来館しなくとも利用することができますが、利用したことがありますか。(MA)



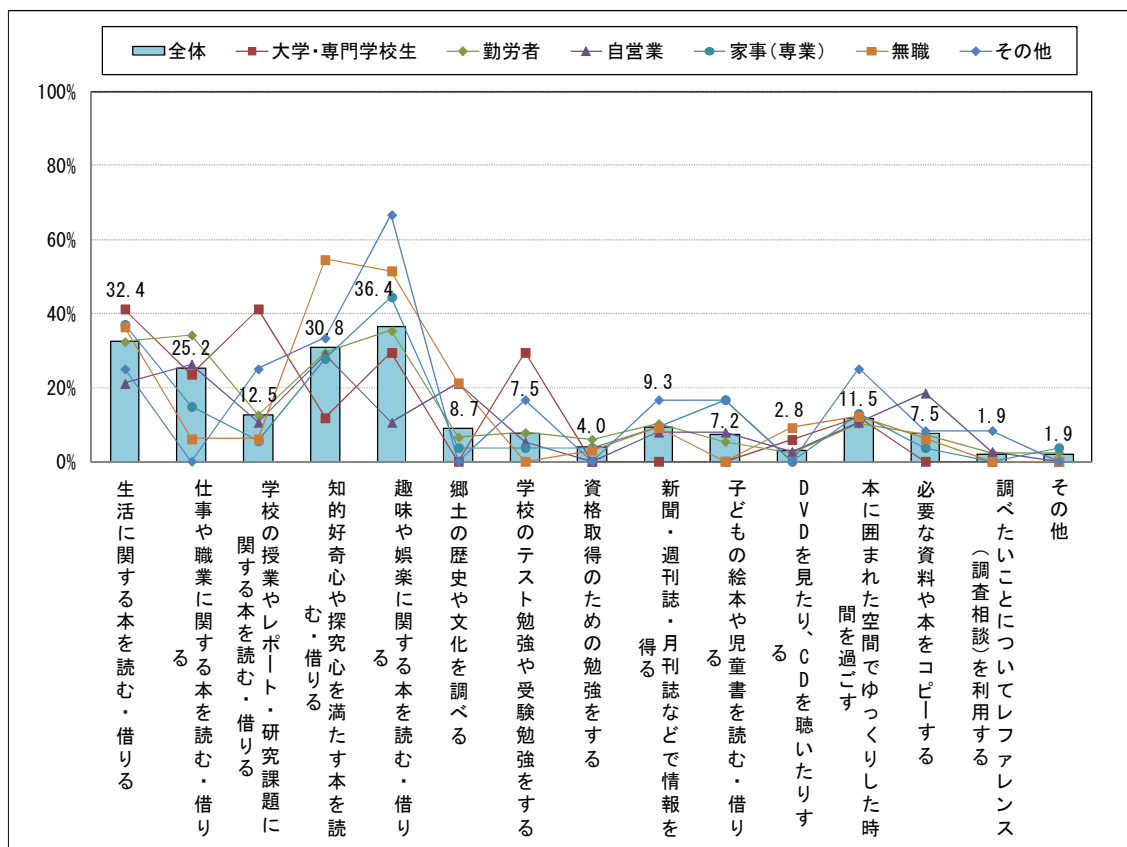
問6. 山形県立図書館を来館して利用したことがない理由は何ですか(最大3つまで選んでください)。(MA)



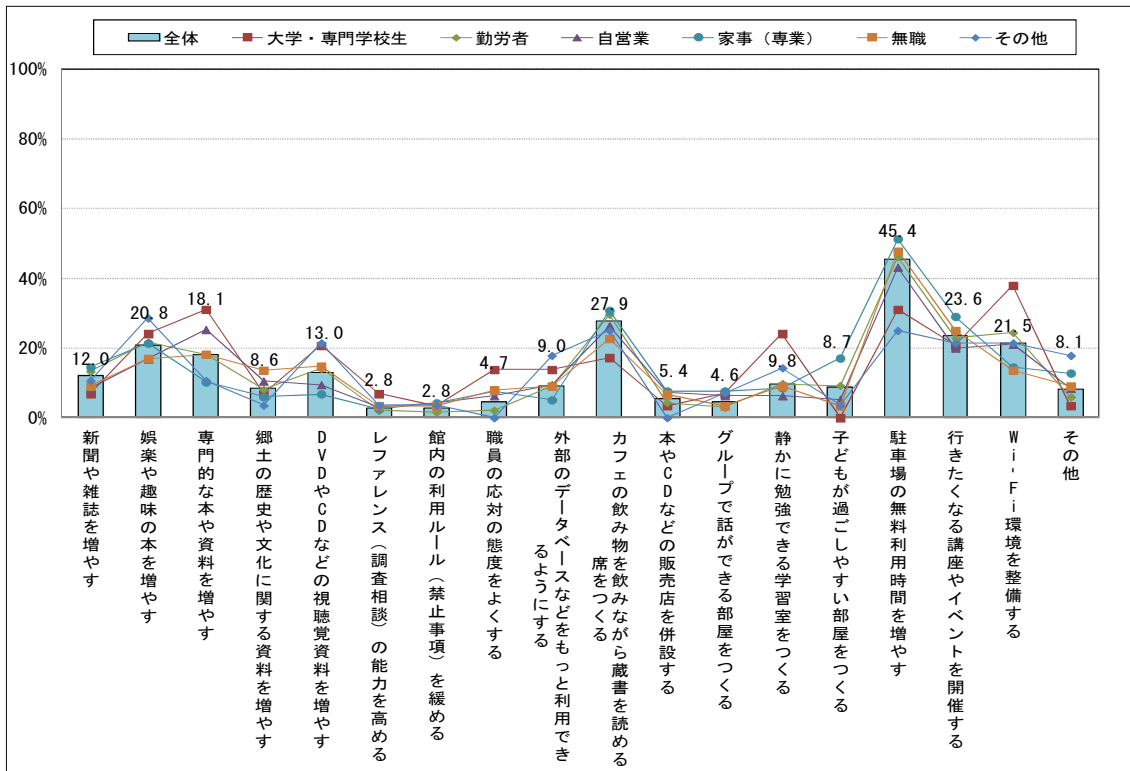
問7. 山形県立図書館をどのくらいの頻度で利用していますか。(SA)



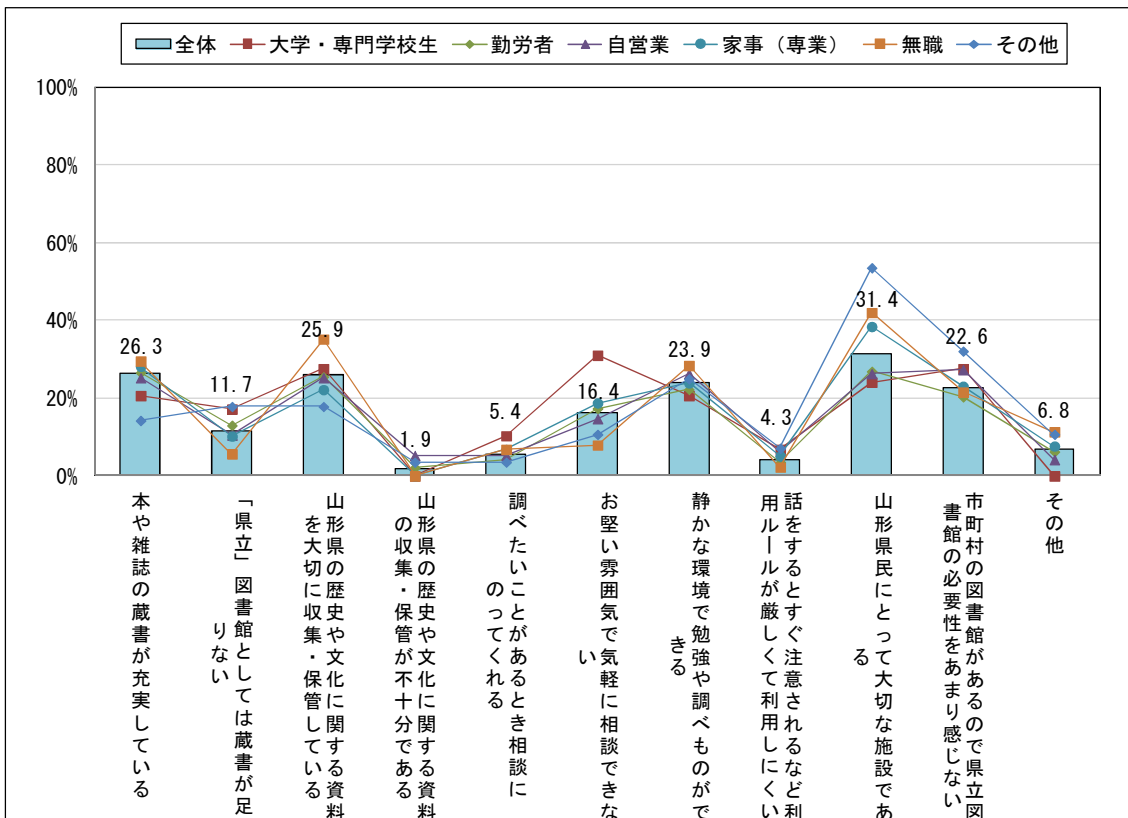
問8. 山形県立図書館の利用目的は何ですか(最大3つまで選んでください)。(MA)



問 9. 山形県立図書館が改善すべきところがあればお答えください（最大5つまで選んでください）。(MA)



問 10. 「山形県立図書館」にどんなイメージを持っていますか（最大5つまで選んでください）。(MA)



〈資料〉 アンケート調査表（様式）

山形県立図書館の利用に関する意向調査（インターネット調査）

問1 あなたご自身のことについてお尋ねします。

- 【性別】 1.男 2.女
- 【年齢】 1.10代 2.20代 3.30代 4.40代 5.50代
6.60代 7.70代以上
- 【職業】 1.大学・専門学校生 2.勤労者 3.自営業 4.家事（専業）
5.無職 6.その他
- 【居住地域】 1.山形市 2.村山地域（山形市除く） 3.最上地域
4.置賜地域 5.庄内地域 6.山形県外

問2 山形県立図書館を来館して利用したことがありますか。

1. ある （→「問3」に回答の後「問5」以降に進んでください）
2. ない （→「問3」「問4」に回答の後「問7」以降に進んでください）

問3 以下のサービスは山形県立図書館に来館しなくとも利用することができますが、利用したことがありますか。（該当するものすべてを選んでください）

1. ホームページの蔵書検索サービス
2. 手紙・電話・FAX・電子メールなどによるレファレンス（調査相談）
3. 地元の市町村立図書館を通じて県立図書館の蔵書を借りる
4. 県立図書館の蔵書をインターネットで予約して地元の市町村立図書館で受取る
5. 利用したことがない

【問2で山形県立図書館を来館して利用したことが「2. ない」と回答された方に伺います。】

問4 山形県立図書館を来館して利用したことがない理由は何ですか。（最大3つまで選んでください）

1. そもそも図書館というものを利用する必要性を感じないから
2. 市町村の図書館を利用していれば十分だから
3. 県立図書館がどこにあるか知らないから
4. 県立図書館に行く時間がないから
5. 県立図書館の駐車場が不便だから
6. 県立図書館まで行くのが遠くてたいへんだから
7. 県立図書館には必要な蔵書や資料がないから

8. 県立図書館は気軽に行きにくい印象があるから
9. その他 ()

【問2で山形県立図書館を来館して利用したことが「1. ある」と回答された方に伺います。】

問5 県立図書館をどのくらいの頻度で利用していますか。

1. 週に4回以上
2. 週に2～3回
3. 週に1回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 年に数回
7. 年に1回
8. 数年に1回
9. 過去に利用していたが今は利用していない

問6 県立図書館の利用目的は何ですか。(最大3つまで選んでください)

1. 生活に関する本を読む・借りる
2. 仕事や職業に関する本を読む・借りる
3. 学校の授業やレポート・研究課題に関する本を読む・借りる
4. 知的好奇心や探究心を満たす本を読む・借りる
5. 趣味や娯楽に関する本を読む・借りる
6. 郷土の歴史や文化を調べる
7. 学校のテスト勉強や受験勉強をする
8. 資格取得のための勉強をする
9. 新聞・週刊誌・月刊誌などで情報を得る
10. 子どもの絵本や児童書を読む・借りる
11. DVDを見たり、CDを聴いたりする
12. 本に囲まれた空間でゆっくりした時間を過ごす
13. 必要な資料や本をコピーする
14. 調べたいことについてレファレンス(調査相談)を利用する
15. その他 ()

【すべての方にお伺いします】

問7 県立図書館が改善すべき点について伺います。問2で県立図書館を利用したことが「2. ない」と回答された方は「どのような図書館になれば利用するか」の観点で選んでください。(最大5つまで選んでください)

1. 新聞や雑誌を増やす
2. 娯楽や趣味の本を増やす
3. 専門的な本や資料を増やす
4. 郷土の歴史や文化に関する資料を増やす
5. DVDやCDなどの視聴覚資料を増やす
6. レファレンス(調査相談)の能力を高める
7. 館内の利用ルール(禁止事項)を緩める
8. 職員の対応の態度をよくする

9. 外部のデータベースなどをもっと利用できるようにする
10. カフェの飲み物を飲みながら蔵書を読める席をつくる
11. 本やCDなどの販売店を併設する
12. グループで話ができる部屋をつくる
13. 静かに勉強できる学習室をつくる
14. 子どもが過ごしやすい部屋をつくる
15. 駐車場の無料利用時間を増やす
16. 行きたくなる講座やイベントを開催する
17. Wi - Fi 環境を整備する
18. その他 ()

問8 「山形県立図書館」にどんなイメージを持っていますか。(最大5つまで選んでください)

1. 本や雑誌の蔵書が充実している
2. 「県立」図書館としては蔵書が足りない
3. 山形県の歴史や文化に関する資料を大切に収集・保管している
4. 山形県の歴史や文化に関する資料の収集・保管が不十分である
5. 調べたいことがあるとき相談にのってくれる
6. お堅い雰囲気や気軽に相談できない
7. 静かな環境で勉強や調べものができる
8. 話をするとすぐ注意されるなど利用ルールが厳しくて利用しにくい
9. 山形県民にとって大切な施設である
10. 市町村の図書館があるので県立図書館の必要性をあまり感じない
11. その他 ()

◆ 2. 聴き取り調査

聴き取り調査等は、平成 27 年 7 月から 9 月にかけて、山形市内の高校生（24 人）、大学生・大学院生（30 人）、読み聞かせグループ（12 人）、子育て中の母親グループ（27 人）に対して実施した。また、経済界については、事前に山形市内の 51 人にアンケート調査を実施した後、5 人から聴き取り調査を行った。

(1) 高校生より

【利用について】

- しばしば利用している
 - ・日曜日の部活後や、部活がない時も勉強のために利用している。
 - ・本を借りるために利用している。
 - ・購入するには高価なもの、文芸書、アートに関する書籍を主に利用している。
 - ・夏場の暑い時期には、外が涼しくなるまで涼しい図書館内で勉強している。
- この聴き取り調査のために県立図書館に初めて行った
 - ・適度な静けさがあってこれからも利用してみようと思った。
- 今は使っていない
 - ・中学 1 年の時に利用していたが、今は時間的な余裕がなく図書館は利用していない。
 - ・学校や教室で勉強をしている。
 - ・図書館は人がいて人目が気になるので勉強をする気が出ない。
- 友達とテスト勉強をするために利用している
 - ・家で勉強するとだらけるため、複数人で教え合いながら勉強できるスペースで勉強をしている。
 - ・県立図書館以外での学習スペースとしては、地元市立図書館（上山市立図書館）や山形市市民活動支援センター学習コーナー（霞城セントラル 23 階）や学習空間 mana-vi（マナビー）をよく利用している。
- 調べ物で利用している
 - ・気になった本などの種類を調べる。
 - ・勉強と関係ないものを調べに行く。
 - ・自分で調べて分からない時は図書館職員に尋ねる。
- 試験勉強で利用している
 - ・自宅と違い、図書館では勉強に飽きた時に読書などで気分転換ができる。

【利用しない理由】

- ・部活と電車通学のため、県立図書館へ行く時間がない。
- ・使いづらいイメージがあるので行かなくなった。
- ・1 回入ったことがあるが、鞆の持ち込み対応などがわからなかったため。

【改善すべきところ】

- ロッカーに荷物を入れるのが面倒である
 - ・ロッカーを利用する時に 100 円を入れずに済むようにしてほしい。
 - ・荷物をロッカーに入れるというのが面倒なので、そのまま持ち込みさせてほしい。
 - ・普段、お金を持ち歩かないので、100 円が必要であっても持っていないためロッカーの使用ができないことから図書館も利用できない（荷物をロッカーに預けることが必須のため）。
 - ・上山市立図書館だとロッカーに荷物を必ず預ける必要がないのに、なぜ県立図書館は必要なのか。
 - ・ロッカーのスペースが狭く、他の利用者とぶつかったりするのがイヤだ。
- 話題の本を集めて展示してほしい
 - ・話題の本や読書感想文指定図書がもっとわかりやすく展示されるとよい。
 - ・TV などで取り上げられている本が、わかりやすく展示されていると探しやすいし借りやすい。
 - ・関連書籍もセットで展示すれば、幅が広がると思う。
- 読書感想文指定図書が分かりやすいとよい
 - ・上山市立図書館は入ったところにそのコーナーがある。
- グループで話ができて飲み物が飲めればよい
 - ・勉強席が個々になっているのでグループで勉強できる席をつくってほしい。
 - ・友達と勉強に来る人が多いと思うので、グループで話ができ、飲み物が飲める場所が欲しい。
 - ・グループで話し合いをしつつ学べる環境があったらよい。
 - ・夏期講習時期は他の高校生も勉強をするため図書館に来ていて、個々の席の確保が難しいため、グループで話をしながら勉強できるゾーンや部屋があるとよい。
 - ・グループで勉強することができれば、教え合うことで勉強が身につくと思う。
 - ・夏は飲み物が飲めないと図書館に長時間いるのがつらい。
 - ・現在はロッカーまで取りに行行ってロッカー前で飲んでいるので、図書館内に飲み物が飲めるエリアがあると便利だと思う。
 - ・現在の 2 階と同じように、1 階でもグループで勉強できるようなスペースが欲しい。
- 貴重な資料など 1 冊しかないようなものは誰かが読んでいると他の人は読めないので、みんなで読めるようになるとよい
- 貴重な資料などに興味があるので、図書館の裏側を見てみたい
- 話題の本を一か所に集め、その作者の関連書籍も置くとよいのではないか
- Wi - Fi 環境を整備してほしい

【県立図書館のイメージ】

- ・蔵書が多い（県が運営しているので多いイメージがある）。
- ・蔵書の幅が広く、学生にはありがたい（中学校の図書室には蔵書が少なく、高校の図書室の蔵書は十分ではある）。
- ・蔵書が多く、本の置き方が乱雑になっていることがある（分類などを守らずにそのまま棚に戻していることがある）。
- ・資料が多く、小説が少ない（市立図書館には多いが県立図書館には少ない）。
- ・県内の様々な資料が揃っている（2階のコーナーを見た感想）。
- ・静かで勉強するのにはよい。
- ・いつも静かで雰囲気がゆっくりしている。
- ・マナーの悪い人があまりいないのが嬉しい。
- ・涼しいのがよい。夏は涼しく勉強するのに最適。
- ・ロッカーのビニールバックで館内を移動するので荷物が煩雑としていない（席周辺が荷物などで散らかっていない）。
- ・ロッカーに荷物を預けるので館内の整頓がされていてよい。
- ・学校の近くということもあり学生が多い。

【開館時間について】

- ・遅くまで開館していると学校帰りなどに利用すると思う。
- ・学校教室は19時まで（月曜日は17時まで）、図書室は毎日17時までなので、県立図書館が開館していれば利用すると思う。
- ・1年生、2年生は県立図書館の方が環境がよいことから利用すると思う（学校教室は3年生だけがエアコン完備）。

【山形市立図書館の利用について】

○山形市在住生徒

- ・小説などを借りに行く（週2回くらい）。
- ・どちらかといえば県立図書館の方を利用する。
- ・市立図書館がどこにあるかわからない。
- ・自宅から遠い（電車で1時間）。

○山形市外在住生徒：上山市、村山市等

- ・地元の市立図書館を利用する。

(2) 大学学部生・大学院生より

【利用した目的】

- ・自宅から近いことと、利用者として高校生が多く、県立図書館が大学図書館よりも静かなことから勉強のために利用している。
- ・大学図書館に所蔵がない絵本を借りる。
- ・研究室での臨床指導で絵本や図鑑を使用するため、大学図書館に所蔵がない絵本を閲覧したり借りるために利用している。
- ・図書館ではないが、2階のホールで開催された子どもの英語スピーチのボランティアをした際に利用した。
- ・授業や研究等で使用する絵本を借りるために利用する。
- ・図書館は利用していないが、高校生の時に合唱部で2階のホールを利用した。
- ・実家が県立図書館に近いため、高校時代は頻繁に利用した。
- ・県外の大学に進学したため利用をしておらず、大学院生として山形に戻ってきてからは時々しか利用していない。
- ・教育実習の小学校が県立図書館に近かったので利用した。
- ・小学校での調べ学習の際に使用する本を借りるために利用した。
- ・県立図書館では学校関係者は本を30冊借りることができたため利用した。

【利用しない理由】

- ・大学図書館が便利なので、特に県立図書館を利用する理由がない。
- ・県立図書館の場所が分からない。
- ・自宅から遠い。
- ・山形市立図書館を利用している。

【改善すべきところ】

- ・大学図書館の休憩場所のように、長時間の図書館利用の際に休憩できる場所があると使いやすくなると思う。
- ・休憩場所では、飲食やおしゃべりができるといいと思う。
- ・カフェなどのように飲み物が飲めたり、軽く食事ができたらいいと思う（遊学館内に喫茶店があることを知らなかった）。
- ・カフェはあるが、静か過ぎる空間だったので、少しでも話ができるようになったらいい。
- ・飲食ができる空間があるとよい。
- ・自分が持ってきたものを食べたり飲んだりするところがあると、お昼休憩等をした上で長時間の利用が可能になる。

- ・水飲み場まで行かないと飲めないのが不便なので、飲み物を閲覧席まで持ち込みできるようにするといいい。
- ・飲食できるスペースが必要である。
- ・Wi - Fi 環境が絶対に必要。
- ・Wi - Fi 環境と電源があるとよい。
- ・ロッカーが小さいため、荷物が多い時や借りる本が多い時などに不便であるため、解消してほしい。
- ・館内に荷物を持ち込むことができるよう小さいクリアバックも大きくしてほしい。
- ・ロッカー使用によって敷居が高くなるため、ロッカーを改善してくれたらいい。
- ・ロッカーの利用方法などを分かりやすいようにした方がいい。
- ・1階に DVD などを視聴できるスペースがあるので、DVD の種類が豊富だったらいい。
- ・大学図書館と比べてもっとメリットがはっきりすれば県立図書館を使うと思う。メリットとは、本がいっぱいある・新聞の種類が多いといったことだが、大学図書館という近くて使えるスペースがあるので、それ以上のメリットがないと思わないと思う。
- ・教育系の本について、現在の蔵書では難しい本が多いので、もう少しやわらかい本も多く入れてほしい。
- ・県立図書館の情報が入ってこないため、どのようなサービスを提供しているかわからず、場所も知らない。

【県立図書館のイメージ】

- ・大学図書館は人の出入りが多く人の物音が気になるが、県立図書館はそれが少ない。
- ・大学図書館だと勉強スペースでも学生同士の会話があるため、県立図書館でも少しは話ができるとよい。
- ・静かだから集中できる。
- ・静かだから集中できるが、話がしにくい雰囲気でもある。
- ・静かだから利用しやすいが、それだけではなく、静かな空間や話ができる空間、休憩ができる空間など、全体として様々な利用用途がある空間が備わっているとよい。
- ・本が多いため、授業や研究で使用する書籍を見つけることができる。
- ・県立図書館は大学図書館の閉架書庫とは違って開架部分において、実際に自分で書籍を見ることができる。
- ・大学図書館での CINI (検索システム) を使った検索で、県立図書館に蔵書があることが分かるため、それで判断して県立図書館を利用している。
- ・検索後に県立図書館などから大学図書館に必要な本を取り寄せすることができるようになるると便利だが、現時点では難しいのではないか。

【山形市立図書館の利用について】

- ・家から近い。
- ・年に1、2回使っているが市立図書館と県立図書館の利用者層が違う。
- ・市立図書館はおしゃべりする人が多いので、勉強目的では利用できないため、大学図書館を利用している。

(3) 経済界より

<記述式アンケートより>

【県立図書館の活性化に向けて、会議・研修等で利用するためには】

○県立図書館のあり方

- ・現在における県立図書館のあり方をしっかり見直し、どんなサービスをどのような形で提供できるかを考え、そのことをしっかりと広報すること。
- ・図書館以外での利用目的「会議や催事、交流、その他」とあるが、県立図書館にこのような役割が必要か。公民館や会館など他に沢山あるはず。どの都市にも負けない本来の目的を追求すべき。
- ・県民にとっての憩いの場所のイメージづくりを。

○駐車場

- ・駐車場が遠すぎるので、改善してもらえればもっと利用したい。
- ・会議や催事で利用するときの駐車場が近くに、そしてまとまった台数が停められるように。
- ・地方都市の移動手段はどうしても自動車になる。会議・研修利用となると、主催者側は、わざわざ駐車場が少ない場所を選択するか疑問。
- ・駐車場の利便性の改善。
- ・駐車場の無料利用時間の延長。
- ・近くの有料駐車場も無料で利用できると助かる。
- ・来館する機会を多くするため、駐車場の無料時間を増やす。

○バス

- ・図書館利用者は100円バスを無料にすれば、若い人の利用も増えるのではないか。

○資料に関して

- ・新聞等の保管については、マイクロフィルム等、アナログも良いが、一般の閲覧に供するものについては、できることからDVDやパソコン等を使った、使いやすいものにすべきと思う。保存は保存、サービスはサービスと分けてもよいと思う（図書館でのITサービスの積極的な提供を）。
- ・郷土の歴史や文化に関する資料を増やす。

○児童サービス

- ・本を読む時間は情操教育にとって大切なことであり、小中高生が図書館に行つて自分のテーマを設定し、本を探したり、調べたりするカリキュラムをつくってはどうか。

○会議・研修

- ・そもそも会議や催事ができるとは思っていなかったもので、全く分からない。
- ・個人の利用を増やすべきではないか。なぜ、団体にこだわった質問をするのか。その意味が分かると答えやすい。

- ・催事ではホールをよく利用させてもらっている。また、各部屋・会議室は、講演会、シンポジウムには最適と思われるが、料金、その他設備のPR不足ではと思われる。
- ・グループで話ができる部屋があればよい。
- ・研修やミーティングができるブース(30名～)を設け、携帯電話の利用可能とすべき。
- ・グループ用のミーティングルーム等の部屋があるとよい。
- ・グループで話ができる部屋を。
- ・40名位が収容可能な会議室の常備。

○ブック&カフェ

- ・お茶等が会場で飲める。
- ・気軽に利用できる環境を整える。カフェの飲み物を飲みながら本を読める席をつくる。
- ・蔵書を読めるカフェ。
- ・ゆっくりお茶・コーヒーを飲みながら、読書できるスペースもあればありがたい。

○ICT関係

- ・パソコンやインターネット環境の充実。
- ・Wi-Fi環境を整備。AV関連設備の充実。
- ・視聴覚設備も整った施設でもあるので、ビデオ視聴(DVD・CDなど)ができる環境になれば便利で、楽しくなるのではないか。

○イベント・催物

- ・イベントの数、内容の見直し。
- ・講座やイベントの開催。
- ・講演会の会場として利用した。

○閉館時間

- ・勤務時間の後に利用できるように閉館時間を2～3時間延長する。
- ・大学時代、テスト勉強やレポート作成のために利用しようとしたが、閉館時間が19時だったので、大学図書館の方が遅くまで開いていたため、あまり利用できなかった。開館している時間を長くすると、仕事や学校終わりの人々が利用しやすくなる。

○館内の利用ルール

- ・館内の利用ルールを緩める。

○ネーミング

- ・かつて県民会館隣に図書館があった頃は、その存在を十分認識していたが、「遊学館の中」と名を変えてからは、とても存在が薄くなった気がする。建物名称の遊学館をやめたらどうか。「県立図書館」そのままや、「さくらんぼ図書館」「ペロリンホールとペロリン図書館」など、図書館が身近に感じられるネーミングを。

【県立図書館のイメージ】

○全体

- ・山形県民にとって大切な施設。
- ・すぐれた施設だと思っているが、いささか宝の持ちぐされの感があるのは残念。
- ・情操教育や生涯学習に大切な施設。
- ・「遊学館＝県立図書館」のイメージが薄い。図書館というより「遊学館＝文化施設」というイメージであり、図書館もあつたのかという感じである。
- ・よくわからないというイメージ。

○雰囲気

- ・建物はきれいに管理されているが、いまだに堅い雰囲気が感じられる。
- ・気楽に読書する場所というよりは、何か目的を持って肩肘張って来館する堅いイメージがあるが、それだけ静かな環境で調べ物ができるということ。
- ・もっと気軽に利用できればと思う（お堅い雰囲気で気軽に利用できない）。
- ・気軽に利用できる環境づくりや交通アクセスを考えてほしい。
- ・何か自然と自分を取り戻せる空間がある。

○機能

- ・静かに勉強ができる。
- ・大変いい環境である。静かである。
- ・静かな環境で勉強や調べ物ができる。
- ・静かで広い。
- ・学生が勉強するために利用する場所。
- ・立地は悪い。高齢者と受験生が利用の中心に見える。
- ・全世界の大図書館・データベースでもあるインターネット検索との異なる差別化に期待。
- ・インターネットが普及し、ちょっとした調べ物は、インターネットで間に合うようになり、一般人にとって、図書館は縁遠い存在になった。
- ・IT時代だからこそ、人が集うコミュニティとしての存在感がある。

○蔵書

- ・蔵書も多く、何か調べたいときに行けば、「何とかなる」「関連の書物が必ずある」と思える。
- ・蔵書が多くて重宝。
- ・山形県の歴史や文化に関する資料を大切に収集・保管している。
- ・新刊書の購入で県民が広く利用というより、専門的な書籍が多く、利用者の幅が広がらないような気がする。
- ・大学時代に専門書（芸術・文学関係）を借りるために利用したが、借りたい本があまりないと感じた。

○駐車場

- ・企業で遊学館を使うとするとやはり駐車場がネックになる（返却のために路上駐車する人がいる。せめて返却用のためだけの駐車場があってもいいのではないか。）。
- ・県営駐車場から遊学館まで歩く道を「哲学の道」と名づけた人がいるが、それを分かりやすくするために、色を塗ったらいかがか。
- ・山形は車社会なので駐車場がないのは致命的。県営駐車場からそんなに遠くはないが、駐車場と一体でないのが問題。遊学館の西側に市有地の空き地があるが、そこを第一駐車場にできないか。その他、ドライブスルーがあってもよい。
- ・駐車場が問題という声が多いなら何とかすべきである。

○ホールの利用

- ・300席では会社としては使いにくい。
- ・ホールに行くことは多い。
- ・山形市の中心部にあるのに活用できないのはなぜか。何か対策、改善が必要なのでは。
- ・遊学館がどういう機能を持った施設かが今ひとつ不鮮明。
- ・遊学館の中が暗い。照明を工夫して明るくすべき。
- ・遊学館の部屋が借りられるという情報をもっと発信すべき。
- ・遊学館の中に図書館があるということを知らない人が多い。
- ・遊学館は300席のホールというイメージで、遊学館は分かるが図書館は分からない。図書館は外への訴えが弱い。名前を変えたらどうか。遊学館の中に図書館があるのではなく、県立図書館の中にホールのある遊学館がある、というイメージにすべき。
- ・立地環境としては、遊学館はいい環境にある。宝の持ち腐れ。
- ・市民・県民が憩いを求めて来るようなイベントを仕掛け、誘客すべき。スイーツ付きカフェなど。
- ・照明をもっと明るく。

○図書館入口

- ・入口のスペースが空間になっている。活かすべきだ。
- ・入口に読みやすい新聞や雑誌があればいい。
- ・図書館の入口スペースが広い。誰が何をするか、取り組むべき。

○児童について

- ・小さな子ども連れで気軽に行ける雰囲気が欲しい。子どもがうるさいというなら、キッズコーナーを囲むなりして工夫すればいい。
- ・不登校児にとってはまず人と触れ合う、そして人間関係をつくっていくことが必要なので、そういう場所として活かしたい。
- ・子育て中の母親のための空間もあればいい。
- ・生活情報の拠点として、母親や父親が子どもを遊ばせながら、母親がTVで料理番組を見て、その情報をダウンロードするなどできればよい。

- ・図書館の近くに小学校があるので、校外学習の折に図書館に来てもらって読み聞かせをするなどできればよい。
- 青少年について
- ・若者が好み、集まってくるような視聴覚関係の設備、CD・DVD がもっとあればいい。
 - ・若者がおしゃべりできる空間、小部屋のような空間をもっとつくればいい。
 - ・図書館の催事に村山地区の高校生を呼んで参加させ、そのあと図書館の資料でそれについて学習するなどあっていい。
- 図書館サービス全般
- ・図書館は本のあるコミュニティの場である。もっと多様な機能、コンビニ、パソコン、レストランなど受け入れていいのでは。
 - ・「山形再発見」という昔の遺跡を巡る催事があるが、その最後に県立図書館に寄ってさらに学習するなどあっていい。
 - ・1階に本が少ない。シルバー世代は2階に上がらない。
 - ・外から見た場合、中が暗い。外から蔵書が見えない。
 - ・受付の女性は何のためにいるのか。
 - ・仕掛けていくイベントが少ない。
 - ・今月の行事の外への告知がない。
- 他団体と図書館との連携・協働
- ・県立図書館は意外と街なかに近い。文翔館は観光用であるとともに、街の住民の憩いの場。図書館も七日町商店街と一緒に何かできればと思う。ただし、市立図書館とは違うというスタンスは大事。
 - ・七日町商店街としては、図書館への誘導というより図書館とのコラボがいいと思う。例えば、秋の読書週間に図書館と商店街が同じ行事をするなど。
- その他
- ・県立図書館の本を市町村図書館を通して借りられるとすれば、県立図書館での貸借について、もっと楽にできないか。
 - ・図書館が待ち合わせ場所になるようにすればいい。
 - ・開館時間が短いのでは。
 - ・図書館の郷土資料をもっと豊かにすべき。
 - ・民間の運営を見習って発想を変え、運営を見直してはどうか。
 - ・街の集客の役目を図書館に担わせるのは筋違いであり、サービスの付加価値提供により、図書館利用が増えるとは思えないが、図書館と商店街でコラボレーションして子どもや家族向けのイベントを企画できるのではないか。
 - ・実際の利用規則のPR不足。
 - ・5年ほど前に行ったところ、手荷物に規制がありパソコンも持ち込めず、以来行っていない。

- ・荷物を預けるのが面倒である。もっと使いやすくしてほしい。

<聴き取り調査より>

○団体・グループ活動の拠点となるには、図書館がどうなればいいのか

- ・半期ごとに社員大会をして事業計画の発表会をする。ただ全体で多人数になるし、立食ではあるが飲食を伴うので、遊学館では開催が無理。
- ・規模の大きなイベントや講演会は、山形ビッグウイングや山形流通団地会館を使うことになる。
- ・企業で遊学館を使うとするとやはり駐車場がネックになる。
- ・遊学館の部屋が借りられるという情報をもっと発信すべき。
- ・リニューアルするなら、例えば県広報誌などできちんと情報を掲載すべき。
- ・アンケートにも書いたが、「団体」にこだわるよりは、「個人」の利用をもっと重視すべきでは。
- ・今の仕事（不登校児へのケア）に関係づければ、通信教育の課題を持って図書館へ行き、多種多様な資料を探して解答を得るなどに十分使えるし、そのような場所として生徒を誘導することもできる（現在、県立博物館へ行行って感想を書くなどの課題を出している）。
- ・不登校児にとってはまず人と触れ合う、そして人間関係をつくっていくことが必要なので、そういう場所として活かしたい。
- ・ホールに行くことは多い。
- ・商店街とは、図書館への誘客というより、図書館と商店街のコラボがいいと思う。例えば、秋の読書週間に図書館と商店街が同じ企画で催事をする。昔、JA と協同の米祭りがあったが、そういうことがあっていい。
- ・近くに山形第一小、山形第五小もあるので校外学習の折になど図書館に来てもらって、読み聞かせをするなどもいい。
- ・法人会では、税務署とタイアップして各小学校を回り税金の話をしている。また、それに関連して絵画展などもして、地域密着の催事を行っている。
- ・図書館と学校と商店街が一緒に何かをするということで、小さいときから県立図書館を使うという習慣が身につけばいい。
- ・諸団体が遊学館を使うとすればホールになるが、例えば総会を開くとしても 300 席では少ない。

○賑わいの仕掛けづくり

- ・娘が近くの図書館を子ども連れでちょくちょく利用しているようだが、そのように小さな子ども連れで気軽に行ける雰囲気が欲しい。
- ・子どもがうるさいというなら、キッズコーナーを囲むなりして工夫をすればいい。

- ・遊学館の中が暗い。照明を工夫して明るくすべき。
- ・入口のスペースが空間になっている。活かすべき。
- ・入口近くに読みやすい新聞や雑誌があった方がよい。
- ・図書館が待ち合わせ場所になるようにすればいい。
- ・若者が好み、集まってくるような視聴覚関係の設備、CD・DVD がもっとあればいい。
- ・若者がおしゃべりできる空間、小部屋のような空間をもっとつくればいい。
- ・子育て中の母親のための空間もあればいい。
- ・今は敷居が高く、堅い空気。
- ・図書館は本のある特殊な場ではない。コミュニティの場。
- ・図書館はもっと多様な機能、例えば、コンビニ、パソコン、レストランなどを受け入れていいのでは。
- ・生活情報や生涯学習情報などが得られる情報の拠点である。母親や父親が子どもと一緒に来て、子どもを遊ばせながら母親が TV で料理番組を見て、その情報をダウンロードするとか。
- ・図書館で子どもが騒ぐのを排除すべきでない。むしろ、静寂な空間を別に設けるべき。
- ・県立図書館は意外と街なかに近い。文翔館は観光用であるとともに、街の住民の憩いの場。図書館も七日町商店街と一緒に何かできればと思う。ただし、市立図書館とは違うというスタンスは大事。
- ・山形は車社会なので駐車場がないのは致命的。県営駐車場からそんなに遠くはないが、駐車場と一体でないのが問題。遊学館の西側に市有地の空き地があるが、そこを第一駐車場にできないか。その他、ドライブスルーがあってもいい。
- ・図書館の催事に村山地区の高校生を呼んで参加させて、そのあと図書館の資料でそれについて学習するというような生涯学習の場にしてみてもいい。
- ・「山形再発見」という昔の遺跡を巡る催事があるが、その最後に県立図書館に寄って、更に学習するなどあっていい。
- ・図書館の郷土資料をもっと豊かにすべき。
- ・図書館が後期高齢者と高校生の勉強の場だけになってはいけない。
- ・図書館は人が出入りするところ。

○自由意見

- ・山形駅西口の敷地に、県立図書館や博物館を移転してもよいのでは。
- ・開館時間が短いのでは。
- ・返却のために路上駐車する人がいるが、せめて返却用のためだけの駐車場があってもいいのでは。
- ・遊学館の中に図書館があるということを知らない人が多い。

- 学校図書館の古い本を廃棄するということがあるが、それを県立図書館で一般利用者に提供するなどの案はどうか。
- 駐車場の問題。県営駐車場から遊学館まで歩く道を「哲学の道」と名づけた人がいるが、それを分かりやすくするために、色を塗ったらいかがか。
- 県立図書館の本を市町村図書館を通して借りられるとすれば、せめて山形市立図書館との間で協定を結んで、県立図書館の本の貸借が楽にできるようにならないか。
- 本はコミュニケーションの手法。アナログ、文章を読む、ストーリーを追う、想像する。
- 本には起承転結がある。文章を読んで、文章を書く。
- 「遊学館」は300席のホールというイメージで、遊学館は分かるが図書館は分からない。県立図書館は外への訴えが弱い。「市立図書館」はイメージがはっきりしている。名前を変えたらどうか。「遊学館」より、「県立図書館」を先に。「山形県立図書館・遊学館」とか。
- 比較的近いので徒歩で行く。また、いろいろな目的で図書館に行く。知事の最初の立候補の時の公約は何だったのかなど。
- 「遊学館」の中に県立図書館があるのではなく、県立図書館の中にホールのある遊学館があるというイメージにすべきである。
- 駐車場が問題という声が多いなら、何とかすべきである。

(4) 読み聞かせグループより

【改善すべきところ】

- ・入りやすいかどうかという点から考えると、入りにくい感じがする。
- ・施設に入ってみて、図書館に来たのか、催事をする生涯学習センターに来たのか分からない。
- ・児童関係の書架はもっと低く。
- ・子ども達がゆったりとくつろいで読書できるスペースが欲しい。そこでは長く読み継がれてきた良い絵本がいつでも手にとれるように。
- ・子ども用のトイレ、また、授乳スペースやオムツ交換のできる場所が欲しい。
- ・たとえば、子どもが一人だけで来たとしても、あるいはどんな子どもが来たとしても、しっかりとその子どものためにサービスができる心構えでいてほしいし、そんなサービスを是非してほしい。
- ・県立図書館利用の必要性をあまり感じていないが、展示会等の企画を多くしてほしい。
- ・利用案内を他の図書館に置いて、もっと PR をしてほしい。
- ・駐車場がない。距離がある駐車場の駐車券をもっと簡単にしてほしい。
- ・県立を含めて県内の図書館の蔵書構成を把握して、1つの本の探索が素早くできるようにしてほしい（注：県立図書館による県域全体の横断検索は運用済み）。
- ・県立図書館に親しみを感じない。
- ・主に市立図書館を利用しているのであまり活用する機会はないが、できれば児童の読み聞かせを定例化したり、講座など親しみやすい企画があればよい。
- ・生涯学習センターとの関係が分かりにくい。
- ・くつろぐ高齢者たちが目立ちすぎる。
- ・児童へのサービスがあまりフレンドリーでない。
- ・ちょっとした別の空間を作って、児童サービスを充実させてほしい。
- ・県の図書館として山形市だけでなく、県民のために、各地域の図書館と関わり、県民全体が等しく図書館を利用できるようにしてほしい。
- ・県立図書館の児童サービスが他の市町村図書館のモデルになるような、児童に視点をあてたサービスをしてほしい。それを市町村図書館が学び、市町村で展開する。また、そこが核になって周辺に広がっていくというような広がりが望ましい。それが県立図書館の使命と思う。
- ・市町村には予算がないので、県立図書館が講師を招いて研修講座を開催するなどして、市町村を支援してほしい。
- ・市立図書館でも駐車場が少ないのに、県立図書館は全く駐車場がない。県営駐車場も県民会館で催事があった場合は満車になり、利用できないことがある。
- ・県立図書館は入りにくい。
- ・最近、図書館の職員の対応がよくなった。

- ・児童コーナーには、夏休み後半には宿題をしている児童が数人いたが、先週の日曜日には子どもの姿はなかった。
- ・児童コーナーの場所がわかりにくい。
- ・児童書架に子どもの手が届かない。
- ・絵本の分類が文を書いた著者名順になっていたが、絵本は絵作者順が探しやすいと思う。
- ・声や物音がするので、児童サービスとして本を読んでいる大人との棲み分けが必要。

(5) 子育て中の母親グループより

【改善すべきところ】

- ・ある程度、話ができるスペースがあるとよい。
- ・勉強している人に気をつかわなくてよいように。
- ・駐車場は無料でないと行きたくない。
- ・授乳スペースやオムツ交換もやりやすいのがよい。
- ・定期的に子ども向けのイベント等を充実してくれると、遊学館に行くきっかけができる。
- ・駐車場をもっと近くに。
- ・駐車場をもっと使いやすく（近くに、立体でない駐車場を、広いスペースで）。
- ・子どもを預けられるところがあればいい。
- ・パーキングが近くにある。
- ・ベビーカーで通りやすい通路。
- ・子どもが靴を脱いで本を読めるスペース（少し独立した場所だと他の人に迷惑をかけるのでうれしい）が欲しいが、学生や社会人が利用するイメージが強いためあまり行かない。
- ・駐車場がないので、近くに沢山欲しい。
- ・騒いでも大丈夫な場所にしてほしい。
- ・楽しそうな場所なら行く（行ったことがないので、どんな本があるかも知らない。子ども向けの絵本が沢山あれば行きたい）。
- ・キッズスペースが欲しい。
- ・親子で利用できるカフェが欲しい。
- ・子育てマスターなど育児を相談できる方がいればいい。
- ・幼い子どもがいるので、お手洗い、休憩場所（飲食を含む）が整っていると利用しやすい。
- ・赤ちゃんの時はオムツ替え、授乳ができるとよい。
- ・駐車場が近くにあると雨の日も利用しやすい（幅も広いと嬉しい）。
- ・駐車場を増やす。
- ・子どもが自由に、多少騒がしくしても許されるスペースがあると利用しやすい（図書館は静かにしなければいけないイメージが強いため子ども連れは利用しにくい）。
- ・絵本を声を出して読んでもいいスペースなども欲しい。
- ・駐車場が利用しやすいとよい（近く、無料などで）。
- ・明るい雰囲気でも多少騒いでしまっても周囲に迷惑をかけないような空間があるとよい。
- ・子ども用の椅子があるなど、設備も整っているとよい。
- ・堅い雰囲気なので、もっと気楽に行ける雰囲気だとよい。
- ・市立図書館は駐車場、公園があるので子ども連れで絵本等をよく借りに行く。

